

商 況

販 賣 旬 報 第 218 號 昭和 8 年 1 月 23 日

製 鐵 所 販 賣 部

年 頭 言 朝暾熙々として洋々たる碧海を壓し、魏々たる荒磯
苔の潮を浴びて愈々玄く、彌榮の日東國の世界を包む平和の心と、
軒昂たる其意氣を表現して昭和 8 年の新春を迎えた。

我鐵鋼界も近年未曾有の好況に恵まれ生氣潑刺として瑞氣横溢、
我世の春を謳歌し喜悅面上に漲つて暫く振りに屠蘇を満喫した。

此喜びに拍車を掛ぐる材料は何か、曰く、

1、需要の増加

(a) 換物思想、貨幣價值の下落は物へ物へと走る。鐵鋼材のみ此
規範から脱する理由はない。

(b) 龐大なる豫算、17 億の昭和 4 年さへ 270 萬 噸の供給を行
つた。今年の 22 億豫算では少くとも 300 萬噸に増加するが自然
である。

2、供給の不足

(a) 内地製鐵能力、製鐵會社は能力は充分保持しながらも減産の
際の苦痛を考ふる時は、需要の實體を究めぬ限り、無制限にはバン
ドは解かぬ、依つて以て此の需要には應じ兼ねる。

(b) 輸入難、各種共販は皆外注値段を下廻つた建値を發表するを
以て、餘程長期に亘つて市場値段が異常の高値を保持せざる限り輸
入は困難にして、恐らく少数に留まるべし。

3、爲替恢復見込無し 20 弗を動かぬ近來の爲替は一寸やそつと
の政策ではそう簡単に動く様には感ぜられぬ。

4、輸出旺盛 滿洲國は勿論南支那、南洋一圓に亘つて鐵鋼の輸出
は爲替安によつて易々として大陸に對抗出来る。斷然増加するが至
當なり。

5、海外高 大陸も 7 年の夏を以て大底を入れ、獨逸の經濟危
機脱出、銅塊組合の再成見込充分にて本年は大勢として上伸の氣
運にあつて我を脅かすことなかるべし。

此悦びを否定する材料は何か、曰く、

1、需要期待薄

(a) 今日の需要の實質は寧ろ假需要が大部分を占むると見るが至
當なるべし、數年に亘る不況は實需間屋筋を萎縮せしめ全く手持を
涸渇しめたるに昨秋來の反動高と外注高により相當の利潤を得たる
爲め資本を豊富ならしめたる結果吸收力を増加したるに留まり、單
なる一時的の現象にて之は直ちに行き詰るべし。

(b) インフレーションの影響薄 成程豫算は 22 億なるべきも巨
款豫算中鐵鋼に影響するものは實質上大なる期待は懸けることを得
ざるべく建築材料たる大型物等に大なる需要ありたることも聞か
ず、精々針金、細丸程度に留まると見るが至當なるべし。

(c) 特殊需要は全般的に影響せず 世間傳へらるゝ軍需及船質改
善法案等所謂特殊需要も、成程一時に殺到はしたるも之も限度が
見えたるものにて兵器等に到りては工場は繁忙なるべきも鋼材に及
ばず數量は極めて貧弱なるべし。

2、製鐵能力増大 減産の苦しみを考へて思ひ切つた 増産に著手
し得ざるとするも、製鐵所を初め各會社共相當數量の増産ありて其

效果の綜合は 4 月頃に到つて現はるゝに至るべし、然も此時期は假
需要も飽食の時にして爾後需給のバランスは破れて供給過剩に陥る
べきは當然である。

3、輸出と爲替は不可分 輸出が利くと云ふも之は全然他力で爲
替が一旦恢復の機に向へば輸出を當にした、能力は内地に振り向け
ざる可らざる状態に立到るべし、然も米國は新大統領により金輸禁
止せらるべき危過は多分に含まれて居る。

4、輸入の増加 内地製鐵能力が時期的に不足を告げ居る爲
め、市場相場異常高値の持續と、積遅れの不安による實需の動向
實需數量の過信などに依り本年は相當數量の輸入を見るべく之が過
去の歴史の物語る如く市場攪亂の主因を形成するに到るべし。

此等の硬軟材料を白眼視して兩者より神ならでは知らぬと祭り上
げられて居るものは「戦争」である。

聯盟の空氣、熱河の動靜、米國の向背等に一喜一憂、一言半句も
聞き洩らさじ、見落すまじと號外にラヂオに飛耳張目して居るが、
要するに「神」より他に知る由もないものである。

蓋し昭和 8 年は苦難を覺悟した昭和 7 年とは別の意味に於て甚
だしく艱難を感ずべきは豫想に難くない、是に處するには寔に平凡
ではあるが常よりは一層慎重なる態度と熱心なる不斷の研究を續く
る以外には道は見出せないのである。さもあらばあれ新年初頭に於
て昭和 8 年の益々多幸ならんことを祈る。

3、4 月積先物協議會一据置

月日場所 1 月 12 日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、4 社及東西問屋

議 事 3、4 月積先物賣出に關する件

大陸も暮より 1 月初頭に懸けて 14 弗臺危ふしとまで云はれた程
であつたが其後聊か反騰氣勢を示し來りたるも猶前月に比較すれば
cost は可なりの下値となり爲替も當時に比して若干ながら高き爲め
概ね 10 圓見當の値下りとなり、その爲め現在の建値と外注との値
鞘も著しく短縮せられたるを以て東西一致して据置き希望となつ
た當所としても海外の進展の模様を注視する必要もあり旁々急騰に
據る實需家方面の苦痛の緩和も考慮に入れ買手希望通り据置とする
を以て是非自重せられたしと云ふことで決定した。

實需家方面の情勢に就て問屋側の意見は、元來實需家は受注と同
時に發注すべきものにて思惑をなすべき性質にあらざるに、不況の
際は之を秘して需要を枯渇せしめて益々市況を悪化せしめながら一
旦好轉するや先高豫想に基き思惑的買付をなして昂騰氣勢を煽りた
るものにて、今日の異狀の狂騰の責任の一半は寧ろ實需家が負ふべ
きものにて、今日の鐵工業者は相當の手持を擁するを以て安定は望
む處なれど値下げは苦痛を感ずと云ふが其真意なれば其點も御參考
とせられたしと云ふ開陳があつた。

希望條件として「一寸法ものに付 1 ケ月以内に 2 ケ月分以上積
出さざる様願度」と云ふことが附加せられたが之に對しては當所工
場も注文集中の非常時の今日なるを以て變態的に斯る状態も出現し
たるも將來は精々留意すべしと云ふ返事があつた。

2、3 月積鐵力板賣出協議會一値上げ

3、4月積先物協議會

品 種	入電 沖着	河岸着値段 (爲替 \$20— $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{2}$ — $\frac{3}{4}$)	希望	決定	備考
角鋼ベース	\$ 15'00	¥ 98'55	93'00	93'00	据置
平鋼(本所分野)	15'00	98'55	93'00	93'00	〃
大型山形鋼	14'70	97'11	93'00	93'00	〃
工形鋼	13'80	92'79	87'00	87'00	〃
溝形鋼(吋寸法)	18'00	112'96	105'00	105'00	〃
〃(耗寸法)	14'00	93'75	90'00	90'00	〃
丸鋼ベース	\$ 15'40	100'47			
〃 9mm	16'40	105'28			
中小型山鋼形	15'20	99'52			
鋼板 6mm以上	18'20	113'92			
〃 4'5mm	18'20	113'92			
〃 3'2mm	18'60	115'84			
〃 2'3mm	22'00	139'01			
〃 1'6mm	23'00	143'81			
線材 B.W.G.No.5	24'00	139'03			
黒薄鋼板 £12-5-0	24'3'54				
鉄力板 170lbs	1-13-9	29'16			
〃 100lbs	0-18-4	15'83			

月日場所 1月17日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵 4社及問屋

議 事 2、3月積鉄力賣出に關する件

1) 外注値段 cif としては 170 封度に於て前月より 1 片の値上りありたるのみにて大差なく、只爲替が 5 ポイントだけ軟化したる爲め 160 封度に於て 30 錢 170 封度に於て 60 錢位の値上りとなつた。

2) 値 段 今日には將來にも若干の餘地を残す意味より爲替の爲めの値上りだけの値上げに留め 100 封 14 圓 80 錢、170 封度 27 圓 40 錢を希望すと、云ふのであつたが 170 封度のみ 27 圓 50 錢として下の通り決定した。

100封度 14圓80錢(30錢上げ) 170封度 27圓50錢(70錢上げ)

3) 數 量 前月と同様 800 噸の賣出しとなつた。

2、3月積製鐵所鉄力板協議會

1月17日

	(100 lbs)	(170 lbs)
C. I. F. price	17/s d	£ 1-12-10
Exchange (@ $\frac{1}{2}$ 3/4d)	¥ 14'37	¥ 26'71
Interest (1'3%)	19	35
Duty	72	122
Charge	08	15
	¥ 15'36	¥ 28'43
希 望	14'30	27'40

3月積賣出美板會一値上げ

月日場所 製鐵所東京出張所

出席者 三井、高島屋、製鐵

議 事 3月積美裝鋼板賣出に關する件

1) 賣出方法の變更 買手側は上伸氣勢明瞭なる、今日の狀勢上前回同様 2ヶ月分同時賣出の希望ありたるも斯る時期に建値の時機が餘り距たる時は却つて買手の苦痛を増す結果となるを以て今日は 1ヶ月分の賣出をなすこととした。

2) 値 段 現在美裝鋼板は建値の基礎が不明瞭なるも假に生産費計算とするも之れも民間との對抗等を考ふる時は絶對と云ふことを得ざるも彼此參照し値段を決定したき希望を有するも、餘りの高値は折角此處まで養成した美裝鋼板の市場を將來に於て再び中板に奪還さるゝ畏あるを以て今回は 鷲印鳩印共 18 番以下を 15 圓上げ 1'6mm 以上を 10 圓値上げに留むることとした。

3) 賣出數量 前月 300 噸なりしを本月は買手の希望を容れ増加して 400 噸を賣出した、但し 1 耗未滿は從前通り 80 噸以内と云

ふ條件を附した。

4) 締 切 1月14日

3月積賣出三S會—T級8圓、B級据置

月日場所 1月9日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、三井、三菱、日立、高島屋

議 事 3月積鉄素鋼板賣出に關する件

買手側希望案は外註 Cost は前月に比し稍硬化と云ふ程度に止まるのみならず爲替關係も寧ろ上伸の氣勢にありて結局彼此相殺されて、前月に比し殆んど差違なきと云ふ有様にて、前月が賣手側の希望を容れて値上げをなしたることなれば、今月は是非据置とせられたしと云ふのであつた。

賣手側としては爲替も大凡落付く處に落ち付きて、當所としても其安定點を求むる時機に到達したと思はるゝが、過去の賣出値段等を參照する時は最近の値段は急變に對する應急策にして外注と懸絶し餘りに低位にありて一定の標準とならず、徐々の値上げも程度問題にて小刻みに過ぐる時は先高豫想により却つて思惑を喰ふこともあるを以て今日の値段の狀態に於ては外注値段の 1 割位下値にあるを常道と考ふる故此目標に向つて進む意味より、今回は T 級 B 級 5 圓値上げしたし。

然し買手側としては外注値段の 1 割下位と云ふ標準を定むると云ふことは來月迄研究問題として保留し單なる値上げと云ふことにされ度く、其程度も据置が頑強なる希望なるも賣手の意志に一步を譲り來月の値上を條件として今月は B 級据置 T 級 5 圓の値上げに留められたしと云ふ提案あり。

當所としては然らば 2ヶ月分同時に賣出し、買手の希望を容れて 3 月渡は希望通り T 級 5 圓上げ B 級据置きとし其代り 4 月渡分は現行値段を標準として T 級 15 圓、B 級 5 圓上とすべしと返答せるに買手は工場の使用數量の打合せも必要として 2ヶ月分同時の賣出は直に承諾し得ざるを以て不取敢 1ヶ月だけ決定することとし T 級のみ 5 圓上げの案に賛成せられたしと提案あり、賣手は 1ヶ月分なれば T 級 10 圓値上げを主張し、折衝之を久ふして決局 4 月積に於て T 級 7 圓上げ、B 級 5 圓上げを條件として 3 月積は T 級 8 圓上げ、B 級据置きの次記條件の通り決定した。

次 記 1、賣價 (イ) 電動機用鉄素鋼板 B 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 300 圓 裸バンド 1 噸に付金 290 圓

但し裸散積は以上賣價の金 1 圓引のこと

(ロ) 電動機用鉄素鋼板 C 1 級 函入のもの 1 噸に付金 320 圓

(ハ) 電動機用鉄素鋼板 D 1 級 函入のもの 〃 金 340 圓

(ニ) 變壓器用鉄素鋼板 T 1 級 函入のもの 〃 金 413 圓

(ホ) 2 級品 2 割以内混入差支なし 2 級品の賣價は各々 1 級品賣價の 30 圓引のこと

(ヘ) 鉄素鋼板厚物は T 級品は金 10 圓引其の他のものは各種共金 5 圓引のこと 以上賣價は來る 14 日迄申込引受決定のものに適用し夫れ以後のものは適宜本所に於て決定のこと

尙以上賣價は 4 月積に於て T 級 1 噸に付金 7 圓也 B 級金 5 圓の値上承諾を條件として決定せるもの

1、數量 引受數量は各社 275 噸平均合計 1,100 噸とす

1、其他 但し T 級は 450 噸以内のこと

3月積鉄素鋼板申込引受數量

	B 級	C 級	D 級	T 級	計
申込數量	775 噸	10	120	460	1,365
引受數量	590 噸	10	115	385	1,100

Tokio, Jan. 7th 1933

LATEST CURRENT PRICES OF ELECTRICAL STEEL
SHEETS 0.014" (0.35mm) × 3' × 6'

	English (Ex. 1-2¼)	German (Ex. 20- ⁹ / ₁₆)
	Special Stalloy (T)	Bismarkhutte Lohys (B)
Cif. or C. & F. Yokohama	£27-11-6	£21-12-6
Exchange	¥ 448.27	¥ 342.10
Marine Ins.	—	—
Draft Interest 1¾%	5.82	4.45
Import duty	6.77	6.77
Landing charges	1.10	1.10
per long ton	¥ 461.96	¥ 304.22
per 1,000 kgs.	¥ 454.66	¥ 299.41

ベンゾール類と石炭酸

1、ベンゾール類大幅値上 内地生産量の不足は今始まつたことでないが輸入困難とインフレ景気の需要急増に市場の品掠れ益々甚しく手持筋の底知れぬ強氣によつて市價續騰の折柄、新年度渡第一回契約の當所ベンゾール類單價は去月下旬スラスラと近來にない大幅値上の協定を見た。

各契約者が値頃如何より數量の多少が先決問題だと云ふ寧ろ高熱的雰圍氣にあるので當所は引續き極力増産に努めて居るが此處暫くは市價の平靜を呼ぶ迄の増量は困難であらふ。

一般向新定價格下の如し。

- 1) モーターベンゾール (1 月、2 月渡) 容器付 25 圓値上
70 桶以上契約 35 桶以上 35 桶未満
220 圓替 230 圓 240 圓
- 2) 純ベンゾール (1 月、6 月渡) 容器付 62 圓値上 230 圓
- 3) 純トルオール (1 月、6 月渡) 92 圓値上 425 圓
- (備考) 以上八幡工場渡容器付 1 桶當り單價なり。

2、2 號石炭酸大躍進 當所 2 號石炭酸の「入札價格 1,000 圓臺近し」と事新らしく報じたのは僅に半歳前であつたが、其後も關係市場は選境好材料の續出により昂騰相繼ぎ勢當所品入札價格も順を追ふて熱狂的人氣を呼び、11 月渡で既に 1,600 圓臺に果進し 12 月渡では更に 1,700 圓を遙に突破するに至り、6 年 12 月渡に比すれば 1 箇年間に實に 26 割の暴騰を示して居る。

客年中の各月契約數量及び落札者下の如し。

月	入札 (同月末渡)	落札者
1 月	15,840	東京丹波屋商店
2 月	12,600	"
3 月	14,004	大阪三井物産
4 月	12,348	"
5 月	10,728	大阪武田長兵衛商店
6 月	13,356	"
7 月	12,276	東京丹波屋商店
8 月	11,520	大阪三井物産
9 月	15,408	東京丹波屋商店
10 月	15,552	大阪武田長兵衛商店
11 月	18,900	大阪三井物産
12 月	20,160	"
計	172,260	

1、2 月積黑板共販締切理事會—申込 6 萬噸

月日場所 12 月 21 日 大阪

出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵及 4 社

議事 1、2 月積締切に關する件

1、薄物部 共販は折角價格の調節に苦慮するも市價は常に高位にあるので又々内地向 28,450 噸、輸出向 8,440 噸と云ふ多量の申込があつた。勿論これには思惑の申込が含まれてゐるが現下の好況を以てしては勢の赴く處如何とも致し難く其の對策としては引受數量に於て調節するに若かずとの事で彼等は考慮して次記の通り決定した

2、厚物部 厚物に對しても内地向 20,732 噸輸出向 880 噸の申込があつたが之れ亦薄物同様思惑の申込が多量であると解さるゝので内地向 4,760 噸を引受けた。尚ほ輸出向は賣出さぬ事とした。

申込 (1) 薄物部 内地向 28,450 輸出向 8,440

(2) 厚物部	A	B	C	計
内地向	8,722	6,887	5,064	20,732
輸出向	360	520	—	880

引受 (1) 薄物部 川崎 製鐵 中山 徳山 日鋼 計
内地 5,381 1,920 1,750 550 400 10,001
輸出 871 250 500 200 30 1,851

(2) 厚物部	A	B	C	計
川崎	1,326	491	315	2,132
製鐵	200	—	—	200
徳山	526	648	644	1,818
中山	150	50	—	200
日鋼	120	140	150	410
計	2,322	1,329	1,109	4,760

2、3 月積厚板共販の締切理事會—申込 4 萬噸

月日場所 12 月 21 日 製鐵所東京出張所

出席者 川崎、淺野、東海及製鐵

議事 2、3 月積締切に關する件

22 日締切つた 2、3 月積厚板の申込數量は依然として 4 萬噸と云ふ素晴らしい數量を示してゐる。前月よりは約 1 萬 噸減少してゐるが實際には市場で要求してゐる數量を遙に超過してゐて矢張り供給力を甘く見ての申込ではあるまいか。7 年中の申込數量から拾ひ上げて 2 月積の 22,300 噸、9 月積の 500 噸、12、1 月積の 146,000 噸、今回の 40,000 噸と波亂の激しかつた 1 ケ年とは云へ如何に無節操に去就したかと判る。

此の様にフラクテーションの激しい厚板界では近來の賣出數量 3,000 噸程度は 1 社で引き受けるとの壯語も決して強がりばかりではなく現在の狀態では之れも亦充分考へられる事であらうが 500 噸 600 噸の申込に止まる事もあるのだから 其の點も充分考慮して引受數量は前月と同じく 3,100 噸とした。

	耳付	定尺	計
申込數量	26,263	13,345	39,613
引受數量	2,870	230	3,100

1、2 月積小型山形鋼の締切

12 月 24 日締切つた小型山形鋼は注文殺倒して近來のレコードを破り申込 6,000 噸に達した。

小型山形を繼子扱ひにする譯ではないが特殊需要其他が小型工場に集中されてゐるので市場の要求通りに賣り出されず先物として 700 噸を引受ける事となつたが品掠れの折柄需要筋の立場も考慮して今回は特に尚ほ 502 噸の臨時引合に應じた。

申込及引受數量次の通り。

1、2 月積申込及引受數量

	東京	大阪	名古屋	門司其他	計
申込數量	2,030	3,500	285	117	5,932
引受數量	272	340	68	20	700

1、2 月積中型山形の申込と引受—最大限 7,000 噸

賣出當時にはアウトザイダーが安賣するとか製品は各寸法に及ぶとか種々雑多の悲觀説が飛び出し、すつたもんだを繰返したのでそれでは申込が減少すると考へたかと聞く人も無いだらうかウンと答へる人も有るまい。然し狐と狸は失言で孔明、張良の士が多く迂闊に涙でも流さうものなら飛んだ仲達の二の舞だが鋼材全般に亘つて眞面目を缺いてゐるとは云へ申込は引受到數倍し、何だらうが彼だらうが詰められる丈け詰め込み度いのが現状と判つてゐるは始め

2、値 段 外注値段は cif 爲替共軟調となつたる爲め 32 の

14 圓近き安値を筆頭に其他も 6、7 圓の値下りを見た爲め、共販値段との鞘は益々僅少となりたるを以て 1 中板物を 3 圓上げ、2 中板を据置きとせられたしとの希望あり理事会としても其希望を大體穩當と認め下の通り決定した。

1・6耗 128 圓 (3圓上げ) 2・3耗 123 圓 (3圓上げ)

3・2耗 110 圓 (据置) 4・5耗 103 圓 (据置)

3、締切 1 月 20 日

外 注 値 段

14th Jan., 1933

March/Ap. shipment

			Kibo	Kettei
1・6mm	\$ 22.00	¥ 137.73	¥ 128.00	¥ 128.00
2・3mm	21.50	135.36	123.00	123.00
3・2mm	£ 5-7-6	112.25	110.00	110.00
4・5mm	5-4-6	109.86	103.00	103.00
	Ex. rate \$ 20 $\frac{3}{4}$			
	$\frac{1}{2}$ %			

2、3 月積線材共販賣出理事会—内地 15 圓上げ
輸出 (3、4 月積) 5 圓上げ

月日場所 1 月 16 日 東京丸ノ内會館

出席者 神戸、製鐵、三井、三菱、岩井、安宅、日鋼

議 事 2、3 月積線材賣出に關する件

買手提案 外注値段は爲替關係により前月より僅かながら高値となりたり。東京製線業者の希望はポンド値段 117 圓の要望なりたるも大阪は 120 圓の要望あり結局大阪側に追従し 120 圓が東西の希望となりたり。製品は 8 番線 190 圓位なるも其原因が供給不足に據るものなれば數量は成るべく多きことを希望す、然し共販の能力も考慮し、1 萬噸を賣出され度く少くも前月より減少せざる様願度し、輸出向は此數量以外に賣出さるゝことを希望するも若し不可能なれば 1 萬噸中 2,000 噸位を輸出に振向けられたし。

猶賣出方法に就ては東西製線業者の狀態により當然異なる意見あり即ち輸出向の僅少な東京方面の意見は結局共販賣出の數量不足なるを以て先づ内地向を充足する意味より 117 圓の 1 本値段の希望となりたるも大阪側としては輸出向に相當の工業設備を有する故之れを輸入のみに依り全部充足せしむるよりも共販は常に輸出に考慮を拂ふと云ふ意志表示をなす意味にて數量の如何に拘はらず輸出向賣出しをなすことを至當と思ふ、從つて建値も輸出向はポンドの若干下値の 115 圓とし内地向は共販元來の方針と市場將來を考へ漸進主義により 120 圓とせられたしと云ふ二つの意見が出た。

理事会 理事会の意見は、今日の狀勢は過去とは大部趣きを異にしポンド以下の 1 本建値を示す必要も消滅し、且つ輸出市場の重要性は益々緊要となり大阪側の意見の如く若干數量にても之に振り向くる必要あり、殊に近き將來に於て神戸製鋼所の増産の實現を豫期せらるゝを以て内地向、輸出向の兩建に復古することになった、唯輸出向の時期に就ては、實際の外注に對應する爲には先物賣出を當然と思ひ輸出向は 3、4 月積とすることにした。

値段の漸進主義と云ふことには全然同意なるも賣手、買手の主觀の相異により内地向のみ希望より 5 圓高の次記に決定した。

内地向 (2、3 月積) 125 圓 (15 圓上げ) 輸出向 (3、4 月積) 115 圓 (5 圓上)

數量は今日の市場の躍騰を緩和する爲め最大能力を發揮し買手希望通り

内地向 (2、3 月積) 10,000 噸 輸出向 (3、4 月積) 1,500 噸とした。

締切 1 月 17 日

附 神戸製鋼所の増産に就き、協議會に於て次記要旨の説明があつた。「神戸製鋼所の増産設備は着々進捗し、2 月中旬より試運転をなし、4 月には市場に進出し得べし新工場は差當り晝間作業のみをなす豫定にて大凡 5,000 噸位は増産し得る筈なり、從つて輸出向の外注手當等に就ても今より相當考慮を拂はれ度し」と云ふことであつた。

Rod. Shipment Feb./March

Cif.	\$ 24.00
Exch. @ \$ 20 %	¥ 116.36
Interest. 1.3%	1.51
Landing Charges	.90
Per 1,015 kgs.	¥ 118.77
Per 1,000 kgs.	117.01 in bond
Duty	21.69
	¥ 138.70 duty Paid

3、4 月積厚板共販理事会—3 圓上げ

月日場所 1 月 17 日 製鐵所東京出張所

出席者 川崎、淺野、東海及製鐵

議 事 3、4 月積賣出に關する件

(1) 買手の要望 外注値段は最近反撥氣勢を見せたも前回の共販建値と比すれば大した値幅無し、然し今日の狀勢は値段にあらずして寧ろ數量の如何にあり。故に要すれば値段は外注一杯に探るを妨げざるも數量は今迄の如く 3,000 噸にては今日の市場の統制不可能なるに付是非市場向として多量に賣出されたし。猶共販が常に需要に充たぬ數量を連續して賣出し、市場を今日の如く狂奔したる狀態のまま放置する時は最も忌むべき外注を刺戟することゝなるを以て其點も考慮され精々賣出數量を多くされたし。

(2) 理事会決定事項 今日の所謂需要と共販の現下の供給能力を考察すれば、共販の態度とすれば切實なる實需の充足を第一と考ふるを以て 4 社としても單なる實需の名目に眩惑さるゝことなく共販と協力して、思惑排除に努められ度く、斯くすれば共販の今迄の賣出數量にても相當程度の満足を買ひ得るものと自信するものであると 4 社側に提案し、

(1) 値 段 大阪 4 社側の希望もあり大體 3 圓程度の値上げとし先物は下の如く決定した。

3、4 月積先物値段

耳付 100 圓 (3 圓上げ) 定尺 108 圓 (〃)

厚さ 6 耗ものエキストラ 3 圓

(2) 數量 能力と市場の要望を考慮して前月同様下記の數量の賣出をなした。 先物賣出數量 3,000 噸

(3) 締切 1 月 21 日 24 日發表

外 注 値 段

Cif	\$ 18.20
Ex.	20 %
per K.T.	¥ 113.38

2、3 月積黑板共販賣出理事会—20 圓上げ

月日場所 1 月 19 日 東京丸ノ内會館

出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵及 4 社

議 事 2、3 月積薄物、厚物賣出に關する件

(1) 買手提案 東西希望案

薄物 1、値 段 内地 輸出
30 $\frac{1}{2}$ × 3' × 6' 30'' × 6', 7', 8' 200 圓 175 圓

(2) 數量 約 13,000 噸 約 4,000 噸

以上數量は市場需要最低數量に付是非共御賣出願度し

厚物

1. 値 段

	内 地	輸 出
12 sh. × 3' × 6'	¥ 190'00	¥ 20'-down
11 " × 3' × 6'	187'00	"
10 " × 3' × 6'	184'00	"
9 " × 3' × 6'	180'00	"
8 " × 3' × 6'	177'00	"
7 " × 3' × 6'	174'00	"
6 " × 3' × 6'	171'00	"
5 " × 3' × 6'	166'00	"
4 " × 3' × 6'	163'00	"
3 " × 3' × 6'	160'00	"

2. 数 量 6,000 吨 申込に依り精々御引受乞ふ

之に對する説明は至極簡單で薄物希望値段の 200 圓とする際、浪原に今迄通りのエキストラを附する時は甚だしく外注と接近して外注を誘發する虞れがあるから一本値段とせられたし。

數量は東京方面にては原料不足の爲め操業中止をなし居る者もあれば是非共多量に賣出されたし。厚物は 3、4 枚の外注が安値となり市場も頭重の感を懷き居る際なれば之を加味し値上げも此程度に留められたし。

(2) 理 事 會 薄板は他の鋼材と全然異なる状態に置かる。即ち他鋼材の如く其儘消費者に使用せらるゝは殆んど皆無にて、是非加工工場を通過する爲め、共販にて如何に安値に賣應するも製品たる平板、浪板が高値となれば消費者は殆んど其恩恵に浴せざる有様である。それ故今日の場合にても市場が合理的値段とせざる限り共販の安値は全然無意義となるのみならず、外注値段と値鞘を置く時は徒に思惑を誘ふを以て寧ろ 1 回は外注 1 杯迄値上げし、其後は海外の硬軟に應ずる様にすれば思惑も影を消すべしと云ふ論議もあり又聯盟の空氣も向背不安定にして、先行混沌として歸趨の捕捉困難なれば之を注視する意味より不取敢半數だけ賣出すべしと云ふ案もあり、或は今日の市場の需給等の實相の窺知困難なれば之を捕捉する意味より入札によるも一案なるべし等の種々の議案を生みたるも兎に角今回は今迄の共販の主義に則り漸次に外注に近づく爲め外注と可なり鞘はあるも 20 圓程度の値上げに留むるが穩當なるべしとの意見の一致を見て下記の通り決定した。

(3) 決 定 事 項 (A) 値 段

薄 物	内 地 向	輸 出 向
13 枚物	205 圓(20圓上げ)	190圓(20圓上げ)
6 呎	207 圓(")	192圓(")
7 呎	210 圓(")	195圓(")
8 呎	210 圓(")	195圓(")

厚 物

	内 地 向	内 地 向
12 枚物	201 圓(20圓上げ)	7 枚物 190 圓(20圓上げ)
11 枚物	199 圓(")	6 枚物 185 圓(")
10 枚物	197 圓(")	5 枚物 182 圓(")
9 枚物	195 圓(")	4 枚物 180 圓(")
8 枚物	192 圓(")	3 枚物 175 圓(")

(B) 数 量 薄物 内地向 10,000吨内外 輸出向 1,000吨
厚物 内地向 5,000吨内外

猶厚物の輸出向は賣出せざる故建値も見合すことゝした。

(4) 締切と發表 21 日締切 23 日發表

(5) 外注値段次の通り

British Black Sheets		Feb. Shipment	17th Jan., 1933
"for Domestic"			
	3'x6' 280 sh.	Narrow Sheets	
cif.	£ 12-5-0	£ 12-0-0	
Ex. @ 1/2 3/4	¥ 199'32	¥ 195'25	
Int. 1 3/8%	2'59	2'53	
Duty	43'50	43'50	
Landing Charge	'80	'80	

per sheet	¥ 246'21	¥ 242'08	
	@ 87'93 sen 375sh.	@ 64'55 325sh.	¥ 209'78
	320 "	75'65	208'79
	280 "	86'45	212'66
per ton of 268 sh.	¥ 235'65	Average	¥ 169'27

"for Export"

	3'x6'280 sh.	Narrow Sheets
cif.	£ 12-5-0	£ 12-0-0
Ex. @ 1/2 3/4	¥ 199'32	¥ 195'25
Int. 1 3/8%	2'59	2'53
Lending Charge	'80	'80

per sheet	¥ 202'71	¥ 198'58	
	@ 72'40 sen 375 sh.	@ 52'95 325sh.	¥ 172'08
	320 "	62'05	171'25
	280 "	70'92	174'46
per ton of 268 sh.	¥ 194'03	Average	¥ 172'59

British. Black Sheets

	Feb. Shipment		17th Jan., 1933
	10 sh. 3'x6	6 sh. 3'x6'	3 sh. 3'x6'
cif.	£ 10- 8-6	£ 8-18-6	£ 8-17-6
Exch. @ ½ ¾	¥ 169'62	¥ 145'22	¥ 128'13
Int. 1'3%	2'20	1'88	1'66
Duty	43'50	43'50	30'67
Landing Charges	<u>80</u>	<u>80</u>	<u>80</u>
per 1,016 kgs.	¥ 216'12	¥ 191'40	¥ 161'26
per 1,000 kgs.	212'71	188'38	153'72
(for Domestic)			
(for Export)	¥ 169'90	¥ 145'57	¥ 128'53

昭和 7 年中の三港輸入一附 12 月中三港輸入

(1) 奈落から九天へ、沈静から狂奔へと未曾有の起伏を畫いた波亂重疊の 1 ケ年も暮れて 昭和 7 年も歴史の 1 頁に織り込まれる事となつた。三港輸入にとつては昭和 7 年は記念すべき歳であつた。殊に關稅増率は、折柄の爲替の落勢及海外値段の昂騰と相俟つて、多年望んで得られなかつた外注驅逐を、事も無雜作に實現せしめたので 6 月 16 日は鐵鋼維新成就の日として 特筆大書すべきである。

以前にも書いた事であるが、不況の際の輸入減少は、市況の悪化を助長しない消極的效果と、輸入に抑れない習慣を作ると云ふ效能が有るとは、云へ必ずしも業界の多幸を表現するものではなく、7

月	昭和 4 年	5 年	6 年	7 年	年下半期に至る
1 月	100	71	15	21	までの輸入の遞減は不況の深刻
2 月	106	71	21	20	化と併進したの
3 月	102	84	65	62	で要するに不況
4 月	96	69	19	24	測定のバロメー
5 月	101	83	65	64	ターに過ぎなか
6 月	97	61	20	33	つたのではある
7 月	81	31	25	21	まいか。輸入の
8 月	97	80	60	69	減少を其の儘に
9 月	83	33	35	16	業界繁榮、鐵鋼
10 月	94	77	61	71	自給の反面と見
11 月	76	35	25	14	て祝福してよい
12 月	89	—	60	71	のは 7 年下半期
計	74	25	29	8	となつてからで
	89	—	59	78	ある。
	79	27	32	10	左表は昭和 4
	85	65	58	81	年 1 月の輸入數
	74	19	25	9	量 100 とした
	85	65	57	90	
	75	20	26	10	
	84	65	55	93	
平 均	85'70	76'60	61'00	72'40	

備考 輸入數量は 4 年 1 月を 100 とす(太字) 月々の輸入數量
先物値段は單位圓……………(細字)の比率と、發表

月に於ける本所の棒鋼ベースの先物値段である。輸入直接影響する市中相場は、是れより遙に上廻つてゐて、それを探るのが當を得てゐると思ふが先物値段に據つても大體の趨勢は判明するので之れを代用する事とした。左表に依つて變遷推移の概略を知られ度い。

以上の如く7年6月を境として始めて輸入の減少と内地値段との逆行を示すやうになつたので之れには爲替低落、關稅増率、外注コストの昂騰と云ふ障壁と特殊需要、インフレーション政策と云ふ恩恵とが三重、四重に重つたからであるが眞、當て無い好現象である

然しながら此處に戒心すべきは「最近の輸入は最低である。」「此の好況を買つた物が近々輸入される」等の聲が頻りに傳へられてゐる事である。現在の經濟組織としては此の鐵鋼界宇頂天の時に際して輸入を最近の儘に留めると云ふのは無理な注文であるかも知れないが繰返し切言すれば各工場の天空高く黒煙が漲つて、鐵鋼關係總ての機構が異常に緊張してゐる時に、輸入が減少してこそ本格的に將來に生きる事となるので、鐵鋼維新が大日本帝國の明治維新の大業の如く確固不拔の根強いものであるが支那に於ける如く、其の時々的事大的砂上の樓閣であるか 昭和8年に向つて投げられた問題として今後の動向は大ひに關心さるべきではあるまいか。

(2) 本年の累計は13萬3,000 吨で前年に比して4萬3,000 吨の減少である。減少品種中の尤なる物は線材で4萬吨以上の激減となつて僅に2萬吨弱と云ふ僅少なる數量となりて嘗て1箇月1萬吨以上を輸入されてゐた事を思へば將に隔世の感があつて近來は月々線材の過少に不安を覺へて其の襲來を掛念される程となつたが本年の輸入品の殆ど全部は特殊品で一般市場向品は殆ど影を潜めたと云つても差支へないので増産計畫と相俟つて線材に關する限り昭和7年は上々の成績と云へよう。

次で鋼板 0.7mm以下が約1萬吨近く減少し其販の威力を物語つてゐるが、技術的及數量的にも外注驅逐は着々と進捗されつゝあるので線材と共に輸入界三羽鳥の二者までも征服爲し得たと見てよいのではあるまいか。鋼管は月々には一進一退を示して居たが累計に於ては昭和4年の6萬吨5年の2萬4,000 吨に比しては之れ亦異常なる激減を示し前年に對しては約半減となつてゐる。

其の他に減少した品種としては棒鋼の全部と工形及軌條とがある棒鋼は3,000 吨減少したが特殊物であり實需であると云ひ、少い少いと云はれながらも1萬2,000 吨入つて其の根強さを示してゐる。工型は極減して殆ど全減に近く軌條の大部分もエレベーター用とガードレールと云ふ喜ばしい状態である。

増加した物は山形、溝形、鋼板 0.7mm超、鋳力、シートパイリング及其他である。型钢は600 吨の増加となつてゐるが前年から引續き今年一杯殆ど有るか無しかの姿で前年が既に過少で而も本年は造船材料が大部分を占めてゐるので實質的には増加の中に數へなくともよいものである。

0.7mm超は中板を中心として本年中に於ける思惑の對象となつて御禁制品が大分入つたと見られてゐる、今回の好況の中でも中板の値上りが最も著しく、厚板も戲談にしろ15萬吨の申込を見せた事もある状態なので累年に於て100 吨程度の増加は不幸中の幸かも知れないが、今後も思惑される危險が充分に含まれてゐるので相當警戒を要する代物であると云はれてゐる。

鋳力は前年に比して上半期は2萬吨の増加を示したが、下半期に入つてから減少したので差引1ヶ年を通じて前年より1萬3,000 吨の増加であつた。

鋳力を除いては特殊なる品種即ちシートパイリングや特殊鋼が比

較的多く輸入されてゐる。昭和7年は外注から内注への大轉換期に直面したので輸入は過度に縮小され其の内容も市場向品は没して實需と特殊物に集つて鋳力を除き本年丈けを切り離して見れば全く更生の紀元と云ふべきで鋳力とて決して數年來の數字より甚しく増加したのではなく鋳力に變化なく他が激變したので下表に示す通りである。之れを要するに昭和7年の輸入界は外注から内注へ、市場向品から特殊物へそして鋳力の跳梁に終始したと云へるのではあるまいか。

昭和4年以降品種別輸入數量比率

		7 年	6 年	5 年	4 年
丸角	鋼	10.7	14.6	31.2	62,600
平山	鋼	22.2	26.4	38.6	5,756
	鋼	31.4	33.4	58.7	15,842
	等	4.4	2.9	44.5	18,077
不溝	山	12.3	6.9	109.1	4,504
溝工	形	6.1	5.2	52.0	9,245
鋼	形	2.6	7.6	37.1	23,441
	板(0.7mm超)	13.3	13.1	71.8	50,855
	"(0.7mm以下)	13.2	24.5	36.1	81,472
鋳軌	力	80.9	61.6	77.5	66,480
線	條	12.3	14.0	30.5	31,299
	材	13.4	42.5	42.4	143,103
シートパイリング		41.2	32.0	124.9	23,106
鋼管		8.5	15.0	38.9	61,031
其他		27.1	25.3	65.2	31,272
計		21.2	28.1	50.8	627,083

備考 昭和4年の吨數を100とす

(3) 12月中の三港輸入概況—6,000吨 12月中の輸入を品種別に眺めれば丸鋼は先月より100 吨増加して240 吨となつてゐる。内160 吨は車軸とかローラーとか變な成品が何れもスクラップとしてCIF 40 圓乃至60 圓で輸入され不思議にもそれに課税されてゐる。スクラップとしては高きに過ぎるし、車軸やローラーとすれば物に依つては切斷を要するであらうし一方中丸の輸入が有ると云はれながら餘り輸入されて居らない事等から悪く邪推すると「良い手」もあると云へない事もない。其の他は殆んど特殊品質が少量宛輸入されてゐるばかりである。角平共に前月と大差無く内容も實需、特殊物に限られてゐる。

型钢は山形、溝形で、92 吨輸入されたが全部造船材料であるし工形は6月以來全く其の跡を絶つて累計も600 吨前年の約 $\frac{1}{2}$ となり實質的に外注驅逐に達したと云はれてゐる。

鋼板 0.7mm 超の中神戸の大部分は中板であるが仲間御法度を侵した人はない様である、大阪90 吨の内70 吨は1.6mm と2.3mm の3'×6', 4'×8' で残りの20 吨はCIF 4、50 圓のスクラップと云ふ化物である。近來どうも中板の輸入と云ふと濱の眞砂が思ひ出されるやうになつた。悪いことである。

鋳力は依然として輸入の王座を占め今月の如き全數量の67% を占め宛然鋳力の輸入の如き觀を呈してゐる。累計に於ても6年より12,855 吨5年よりも2,263 吨多く軒並輸入激減の時に際し唯一の例外を示して居る。

本月の輸入總量4,000 餘吨の内2,800 吨はW、W 700 吨オイルサイズで170 封度と100 封度が600 吨であるとは云へ、待たるゝは本所の新設備と増産で特殊物と共に鋳力の驅逐は今後メーカーに課せられた負擔である。軌條は全くエレベーター等の特殊用に追ひ込まれ今月の殆ど全部もそれである。

線材は入る入ると言はれながら250 吨と云ふ記録的の少量となつた。然しながら噂の通り保税物及供託品として大阪に1,000 餘吨横濱に100 吨以上入つてゐるので矢張り火の無い處に煙は立たない

のであらう。此處に警告を發してをくのも徒爾ではなく何れ思ひ當る時が来るのではあるまいか、とは云へ7年中の線材は量に質に誠に目出度い歩みを示したものである。7年中の線材輸入に關する限り誰も萬歳を叫ばざるを得ないであらう。

シートパイリングは本年を通じて根氣よくボツボツと入つて累計9,500 吨となつてゐるが今月の全部と共に大部分は大阪の地下鐵向である。今月の「其他」750 吨の中には造船材料としてバルブアングルが360 吨有るが特殊鋼も亦250 吨輸入されて本年を通じて特殊需要の優勢であつた事と輸入内容の變化を如實に證明して居る。

12 月中の輸入6,000 餘吨は前月に比すれば500 餘吨の増加を來してゐるが豫想された數量よりは少く現状としは可も無く不可も無い數量であるが税關の倉庫には伏兵がまゐりを含んで潜んでゐると云はれ、外電は「日本よりの引合多し」と報じてゐるので輸入5、6,000 吨の概念をいつ何時變更せねばなくなるか分らない。斯くて昭和7年12月の輸入は嵐の前の静けき夕陽を浴びつゝ幾多の問題を解決し幾多の疑問を残しつゝ暮れたものと云ふべきであらう。

ブラッセル齊藤囑託通信

1 月 7 日入電 市場閑散ながら寝り、相場下の如し。

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S.)
2-7-6	2-7-6	2-6-0	2-3-0

鋼 板 ($\frac{3}{16}$ ")	シートバー (assorted)	ピレット (4")
2-17-6	2-1-0	2-0-0

1 月 16 日入電 市場は先行良好と見られ、日本から大量の注文が有つたと言はれてゐる。相場下の通り

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S.)
2-9-0	2-9-0	2-10-6	2-3-0

鋼 板 ($\frac{3}{16}$ ")	シートバー (assorted)	ピレット (4")
3-1-0	2-1-0	2-0-0

國際鋼塊組合は1月12日ブラッセルにて會議を開き組合の更改に就て論議したが遂に解決案が得られなかつた。

次回の會合は来る1月28日に開催せられる筈。

7 年 12 月 2 日發信 旅行中の處昨日歸宅仕り候

市況は一服の姿にて各メーカーも差當り2ヶ月位の生産物先賣り済の模様にて相場は幾分弱氣なれども人氣は依然よく新年休暇明には再び活氣を呈するならんと申し居り候

目下基督降誕祭近づきたると對米戰債問題の成行の見極めのつかざると且又昨今英貨磅爲替相場下落等の諸材料も亦昨今の弱材料と見做し得べきものと存候

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2-17-0	fr 550
Angles (heavy)	2-15-0	530
" med. small	2-17-0	—
Joist (N. S.)	2-4-6	500
" (B. S.)	2-7-0	515
Hoops (base)	3-10-0	675
Wire Rod	4-10-0	—
Plates ($\frac{3}{16}$ " or 5mm)	3-5-0	625
Billettes (4")	2-1-0	410
Sheet bars (assort)	2-3-0	425

7 年 12 月 9 日發信 本週市況は先週と何等變化を見せず寧ろ一層閑散にて相場は幾分下落を見申候 年末の爲めと四圍の政況不安の爲來春休暇明迄は何等活況を見ることこれなかるべく候

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2-16-0	fr. 520
Angles (heavy)	2-13-0	520
" (med./small)	2-14-6	—
Joist (N. S.)	2-4-0	430
" (B. S.)	2-6-0	—

Hoops (base)	3-10-0	—
Wire Rod	4-10-0	—
Plates (5mm or $\frac{3}{16}$ ")	3-5-0	620
Sheet bars (assort)	2-2-0	400
Billettes (4")	2-1-0	380

7 年 12 月 16 日發信 市況の引續き沈靜を續け居るは年末の近づけるためと國際政況の見極めつかざるため又近く國際鋼塊カルテル再結成の計畫あるため等に外ならず候へば人氣は別に變りなく底堅く新年にならば再び活況を見るならんと申居り候

國際鋼塊カルテルは白耳義メーカー間の生産量割當につき中々一致を見ざりしたため再結成は永く懸案の儘なりし處最近愈々一致を見るべく近く實現を見る機運に立到りたる由に候明17日巴里に歐洲製鋼業者大會開かれ専らカルテル結成を論議せらるゝ手筈に御座候 今週の相場下の通りに候

	Export	Inland
Bars	£ 2-12-6	fr. 510
Angles (heavy)	2-11-0	510
" (med./small)	2-12-6	—
Joist (N. S.)	2-3-0	480
" (B. S.)	2-4-6	455
Hoops (base)	3-10-0	—
Wire Rod	4-10-0	—
Plates $\frac{3}{16}$ "	3-0-0	585
Sheet bars (assort)	2-1-6	400
Billettes (4")	2-0-0	380

線材業カルテル 12 月 9 日獨逸デュセルドルフに會合來年初3ヶ月間割當量決定せるが前期(即ち1932年、10、11、12月)の24萬吨に比し6萬吨増加の30萬吨と定めたるが協定價格には變化なし 次回會合は明年3年初旬當ブラッセル市に開催の豫定

帶鋼(フープ)メーカー會議 13 日(即ち1昨々日)當市に會合國際共販機關(白、ル、佛間)再組織の議論ありしも結論に達せず引續き明日の巴里會議席上研究すべしと云はる。

7 年 12 月 24 日發信 今週の市況は歳末なると佛國筋よりの競争烈しきため相場は幾分弱氣なりしも休日明の1月中旬よりは活況を見るならんと一般に期待致居候

國際鋼塊カルテル再組織に關する去る17日の巴里會議に白耳義側の割當量條件を認め愈々具體的に組織條件を研究すべき機運に向ひ引續き1月11日より當ブラッセル市にて再び委員會を開催の豫定に候本週の標準相場は下の通りに御座候

	Export	Inland
Bars	2-10-0	500
Angles (heavy)	2-9-0	500
" (med./small)	2-10-0	520
Joist (N. S.)	2-2-0	430
" (B. S.)	2-3-6	450
Hoops (base)	3-10-0	—
Wire rod	4-10-0	—
Plates (5mm or $\frac{3}{16}$ ")	2-17-6	575
Billettes (4")	1-19-0	360
Sheet bars (assort)	2-0-0	370

今秋市況の復活以來下の如く増産を見申候

	9 月中	10 月中	11 月中
白 耳 義	221,630 吨	228,970 吨	235,450 吨
ルクセンブルグ	169,864 吨	177,676 吨	180,913 吨

7 年 12 月 29 日發信 今週の市況は何分年末のことゝ一般に閑散を極め只東洋向輸出商談多少ありたる模様なるも佛國その他の競争ありしたため相場は復々各漸落 9 月頃の相場へ逆轉致候 年末とて特に電報仕らず候

	Export	Inland
Bars	£ 2-7-6	fr. 470
Angles (heavy)	2-6-6	470
" (med.)	2-7-6	—
Joist N. S.	2-1-0	425

" B. S.	2—3—0	—
Hoops (base)	3—10—0	—
Wire Rod	4—10—0	735
Billettes (4")	1—19—0	360
Sheet bars (assort)	2—0—0	—
Plates $\frac{3}{16}$ "	2—16—0	570

東西市況 一稍々沈静 幾年振りかに鐵鋼界は寔に朗かな正月の昭和8年を迎えた。7年の暮は堅實な足取りで硬化の道程を辿り御用納めの頃は何となく餘韻を含ませて越年した。

新春劈頭は前年に引き續いて堅調を傳へ上旬には鋼材全部に亘り10圓以下は全く影を潜むと云ふ状態に立到つた。然し同じ10圓臺の飛躍と云ふても7年10月末の浮調子とは趣きを異にして市場人をして危けを感じしめる様なものではなかつた。

今旬に入つてから帳端が近づいた事とて荷動きは一服状態ではあるがそれでも勿論例年の1月に比ぶれば活潑で特に地方筋が相當買つて來て居るのは珍らしい現象と云はれて居る。

然し概観すると此處へ來て一抹の冷たい流れが底を流れて居る様にも感ぜられぬでもない。それと云ふのが大型物は前月の14,000噸の當所の受注で冷水3斗を喫した感があつて不安氣味な處へ、關西方面の丸鋼が一時の様な活氣が消えて東京も之に染つて賣物が弗々と影を見せ初めた事と中板を中心に外注を算盤に入れて一進一退の有様が眺められるからと云はれて居る。反對に硬派に云はせればこんな事は問題でなく結局は高峯に達する過程の一起伏に過ぎぬと見て大型を除けば押目買の元氣は失せぬとも云はれて居る。硬軟兩派何れに凱歌が揚るか大體の見當は2月末から3月初めに到れば判明すると思はれる。

東京市況

丸鋼 丸鋼組合は不相變9圓80錢以上を固持して居る。暮には一旦10圓30錢駈りまで行つたが、今旬に入ると西路の買疲れの影響を受けて10圓丁度まで軟化し實際取引は組合値段位との事である。そうなるも今迄姿も見せなかつた賣物が現はれて來たから、暫くは此邊を彷徨するものと觀察されて居る。6mm, 9mm 平凡12mmは供給不足の品薄に堅調を傳へられ、中丸も品薄な爲め強調、太丸は需要も尠いが手持も薄く12圓見當を保つて居る。

角、平鋼 今旬の出色は角、平である。消費數量も僅少な代りに何時も丸鋼の蔭に蔽はれて、存在を認められなかつたが、當所の供給が不足と見當を付けたのと、4社が10圓50錢に賣り出したのが動機となつて一段と硬化し、加之地方からも相當引合があつたので平鋼は11圓臺角鋼は10圓50錢迄上伸し先行好望を傳へられて居る。

型鋼 中型山形は大阪方面が當所品の積遅れによつて品掠れを演じた爲め大部四へ流れたが、今度から入荷が確實になつたのと、自然の平均運動が終つた爲め一段落とはなつたが、東京方面で近來實需が纏つて市場へ現はれた爲め不相變堅調を保持して居る。大型物は全般にチックリで等邊130mmは大口積出しで沈静し臺割れさへ傳へられ不等邊も共販サイズが寧ろ高値唱えを變轉し、溝、工は入荷と見れば棒下げ、無いとなれば飛び上ると云ふ有様で同じ物でも店によつて甚しい高低あつて聊か混亂氣味となつたが概して云へば溝形の方が氣を持つて居ると云はれて居る。

鋼板 鐵鋼界の名物、中板は愈々「山雨將到」で4社も相當外注した、いや大阪のアウトサイダーが何千噸だ、箱根丸で何千噸だと、何處までが本音か知らぬが飛信頻々、流石の堅壘聊か動搖の色が見え初めた。然し表面32迄で17圓以下は見當らぬ16は安い舶來の賣物が大阪で出たと云ふ聲に氣を悪くして居るのが敏感に

東京へも響いて考へ始めたと云はれ。23, 32, 45 其外注の掛聲に脅えながらも突つ張つて居る、60は特に「出來た、出來た」の聲が濃厚で浮動氣味80mm以上駈り不變。

大阪市況

丸鋼 我國は元來7、8といふ數字のつく年は政治的にも經濟的にも變化があるといふことをよく耳にするが昭和7年は正にその通りであつた。然らば明けて昭和8年は如何? こんなことを豫言する事は我々擔板漢にとつては不可能なことであるが少くとも我鋼材界に就てのみへば本年は未だ熱狂的景氣を呈する迄には至らないであらうと見ることが出来る。即ち昨今の鐵材の狂騰を深く研究すれば特殊な需要は別として一般需給は決して圓滑に行はれてゐないようで唯一部思惑筋の策動によつてはね上つたものが多いやうである。従つてこの點をよく考慮せねば折角景氣上向期にある我鋼材界も再び暗雲に覆はれないとも限らぬ。宜しく大局に眼を着ける必要がある。6mm, 8mmは伸鐵方面より引續き多量の注入あるためベースものに比して伸力鈍く氣配は茲許一服と見られてゐる。9mmは當所積遅れのため一時活況を呈してゐたが昨今では伸鐵物の出廻り順調にて相場は10圓50錢見當を唱へられてゐる。12mmはエキストラ付きであるため相場は他のものに比して高く市中在庫薄と相俟つて氣配は強調を示してゐる。中丸は賣出し數量少く且つ最近シャフト用としての注文相當あるため市中益々品掠れとなり従つて相場は12圓以上を唱へられてゐる。太丸は賣行弗々あり。

鯨腹の猫の晝寢を嫁が君

角、平鋼 角鋼は當所よりの荷廻り不順調にて市中品薄となり引合も相當あるところから相場はカツチリしてゐる。平鋼も亦市中在車は非常に少く伸鐵屋も材料難にて製作不可能となつたため市況は駈りを呈してゐる。

型鋼 小形アングルは市中品薄であるが伸鐵方面より弗々注入あるため相場は茲許伸びそうで伸びない。中型アングルは共販の積遅れにて市中品薄を傳へられ注文も相當あるところから相場は漸騰歩調を辿つてゐる。就中2", 2½"等は日用品の事とて相場の狂騰を演ずるは蓋し當然と見られてゐる。兎に角共販よりの入荷を只管待ちわびてゐる。大型アングルは弗々入荷あるも順次消化されてゐるので相場も比較的カツチリしてゐる。

チャンネル 65×150, 65×125は市中品皆無にて相場は別表の如く法外に高い。ジョイストは前者に比してコストも安いが賣行もやゝ鈍い關係から特筆すべき材料はない。

鋼板 1、2中板は相變らず市中品掠れにて相場は全く亂調子で、最近弗々輸入品も市場に散見せられるがこれも燒石に水位しか響かず。中板の中でも45は需要少い品物であるので相場は他のものに比して幾分安い。6mm以上のものは需給圓滑に行はれてゐるので相場もカツチリしてゐる。

線材 製品の賣行は昨今幾分鈍つたやうであるが何分にも市中品薄に加へて共販も値上げ發表せしため益々底意駈りを傳へられてゐる。然し昨今の相場は行過ぎの觀あり警戒せねばなるまいと云はれてゐる。

鋳力板 昨今の鋳力屋さんはまことに不謹慎極まるといつてよい即ち實需を考慮せず徒らに問屋間にて賭博的商内を繰返してゐるため相場は益々吊上げられる一方と云はれてゐる。これがため實需筋では作業をやむなく中止してゐるものも弗々あらはれて來たと云はれまことに寒心にたへないものがある。

販 賣 旬 報 第 219 號 昭 和 8 年 2 月 1 日

製 鐵 所 販 賣 部

昭和 8 年の一課題 昭和 8 年の鐵鋼界には「製鐵合同案」「統制機構の變化」「市況の硬軟」等種々の重要な件案及び豫想が提供されて居るが、他の方面より觀察して主要視すべき問題として課せられたものに「輸出」の一項がある。

昭和 7 年迄は我國鐵鋼業は「自給自足」へ向つての精進であり、且つ其完成であつた。即ち昭和を轉機として此大目標を決定し之に向つて邁進する爲め外は外注防遏に有らゆる手段と方法を講じ、内は内地生産量の増大と統制の爲め畢生の努力を惜まなかつた、條鋼分野協定による責任生産數量の分擔や官民分野協定等は其一端を物語る材料である。昭和 3 年の好況は一面消えんとする輸入の最後の一閃であつたと共に内地生産者の確乎たる基礎を形成するに多分の寄與をした。其後引き續く連年の不況により業界は甚だしき打撃を受けながらも業者の生産費の引き下げ及び統制の力によつて善く之に耐へ昭和 7 年には鉄力を除いては兎に角鐵鋼の「自給自足」を完成し残されたる鉄力も明年には完全に外品を驅逐し得る成算は立つたのである。

然し「自給自足」とは國內にて消費すべき鐵鋼の品種、數量に對し、單に技術的にも量的にも之に應ずべき準備成ると云ふ表明に留まつて、必しも其能力と技術を常に活用し得るとは云ひ得ないものである。要するに「獨立」への一階梯であつて吾人の目標は鐵鋼の獨立でなければならない。之を昨秋の例に執つて見れば假に概觀して 170 萬噸の 5 割の需要が勃發したとしても 260 萬噸には満たぬ數量で我國の能力約 300 萬噸に對し未だ 40 萬噸の餘力を保持して居るのである。然るに現在迄國內のみを對稱としたる我鐵鋼界は減産に次ぐに減産を以てして昭和 7 年には 170 萬噸の生産となり今回の如き突差の場合何等の彈力無く遂に之に應ずることを得ず、市價の狂奔となり外注の誘發となり現在及將來に幾多の禍根を残すに至つたのである、即ち能力はありながら之を活用し得ずと云ふ状態であつた。要するに我國現在の鐵鋼界は如何に最肩目に見ても未だ歐米の精粕を嘗むるもので其一擧一笑に一喜一憂しなければならぬと云ふ眞の「獨立」に程遠い過渡期にあるものである。

若し假に今迄に於て海外市場の成育に努め能力の保持があつたなら斯る際には彼之融通して國內の需要の緩衝地帯となり、從つて市價の平靜なる推移と、無駄な外注とを省くを得たであらう。製鐵所に於ても過去に於て多大の犠牲を忍びて支那、滿洲方面の市場の開拓に努めたが、餘りにも大なる犠牲なりし爲め遂に昨年以來此を中止するの已むを得ざる状態となつたが、今にして思へば誠に無念至極である。死兒の齡は算ふるを止めて、將來に活目すれば、昭和 8 年としては我國鐵鋼業者にとりて、此海外の進出と云ふことは前述の如く我國鐵鋼の獨立と云ふ崇高なる大目標の達成の爲め絶対に必要となると共に内外の狀勢より判斷して絶好の課題たるを失はないものである。

第一は滿洲國の獨立の基礎が愈々鞏固となつた事である。新興滿洲國は勿論嚴然たる獨立國で決して日本の屬國にても無く合併したのでもないが、相共に手を携ふる兄弟國たる以上我國の市場として開拓すべき最も好き對稱である、特に新京を初め各都市の勃興等は鐵鋼の需要を喚起すべき可能性充分である。

第二は爲替安である。現在 20 弗近くを彷徨する爲替は海外の鐵鋼に充分對抗し得べきものである、吾人としては此機に乗じて確實なる基礎を成形すべきで、追つては各鐵鋼業者の經營の合理化に依

り充分なる生産費の低下を謀り爲替の恢復に際しても之を奪還せらるゝことなき様努むべきである。

第 3 は過剰能力の消化である。昨秋以來の爆發の原因は勿論實需の増加にあるべきも其間には可なりの數量の思惑が含有せらるゝと云ふことは誰しも否定し得ない處である。然るにメーカーの之に對する増産は種々の形式に於て著々準備は進められ近き將來に於て其威力を發揮する様期待されて居る。此増産が實現したる曉には或は一時的にせよ需給の調節を破る様な懸念が在る特に機を一つにして相當量の輸入を豫期せらるゝを以て其際に於ける彈力として輸出市場の確保は最も重要性を帯ぶるものである。

昭和 8 年は愈々自給自足より獨立に向つて 一步を進むべき時機で、其意味より輸出問題は本年の課題として最も重要視すべきものである、恐らく此機を逸しては再び來ること無かるべく、鐵鋼人としては何としても解かなければならぬ問題の一つである。

2、3 月積當所先物の申込と引受—申込 1 萬 5,000 噸

2、3 月積先物申込高

品名	揚地	東京	大阪	名古屋	其他	合計
角	鋼	—	—	—	—	—
平	鋼	—	—	—	—	—
等	山	425	1,895	—	—	2,320
不	山	275	1,745	—	—	2,020
滿	形	1,525	3,260	95	99	4,979
工	形	980	4,184	100	—	5,264
合 計		2,205	11,084	195	99	14,583

2、3 月積先物引受高

品名	工場別	1、2 小形	3 小形	1 中	2 中	1 大	2、3 大	4 型	合計
角	鋼	50	—	—	—	—	—	—	50
平	鋼	100	—	—	—	—	—	—	100
等	山	—	—	—	—	—	1,948	—	1,948
不	山	—	—	445	345	175	1,125	22	2,112
滿	形	—	—	—	1,083	774	1,397	1,745	4,999
工	形	—	—	—	—	—	4,515	640	5,155
合 計		150	—	445	1,428	949	8,985	2,407	14,364

色々な意味で問題となつた 2、3 月積は申込 1 萬 5,000 噸に近く、實に勇敢な市場の氣勢には一驚を喫した。市場では此數量は恐らく當所に於て相當減額したうなどと噂もあつたが、それは要するにデマで全部快諾して引き受けることゝした。此數量の市場への反映は今迄の経験から云へば 6 月から 7 月初に掛けて現はれるものと考へられるが、是非健全な推移を示すことを祈つて已まないものである。

3、4 月積當所先物の申込と引受—申込 1 萬 3,000 噸

申込の表を見れば分る通り申込 1 萬 3,000 噸も角、平に 8,500 噸と云ふ申込の激増があつた爲め此結果を招致したので大型としては 4,000 餘噸である。

角。平は定期數量が不足して居ると値段も追々と接近して來た爲めと品不足に依る先行好調を織り込んで斯の様な結果となつた

3、4 月積先物申込高

品名	揚地	東京	大阪	名古屋	其他	合計
角	鋼	995	1,165	150	252	2,562
平	鋼	2,495	2,730	180	627	6,032
等	山	516	225	—	—	1,176
不	山	—	435	—	—	—
滿	形	522	1,135	5	24	1,686
工	形	185	1,016	10	—	1,212
合 計		4,714	6,706	345	903	12,668

大型は先月尤大な引受があつた爲め大部減少はしたが未だ未だ先高を氣構へて居るので 4,000 餘噸の申込となつた。然し正直な處を

品名	工場別	3、4月積先物引受高							合計
		1、2 小形	3 小型	1 中	2 中	1 大	2、3 大	4 型	
角平 等不 溝工	鋼	—	—	—	232	—	—	—	232
	鋼	—	—	—	—	953	—	—	953
	山	—	—	—	—	—	300	—	300
	形	—	—	255	180	25	110	—	570
	形	—	—	—	416	466	417	185	1,484
合 計	—	—	—	255	82	1,444	1,864	337	4,728

備考 森岡商店の寸法別申込未提出の爲め算入せず

云へば先月 1 萬 5,000 吨出た譯でもなければ今月 4,000 餘吨の申込をした事でもなく此を加へた 1 萬 9,000 吨が 2 ケ月で賣れたと見るのが至當であらう。

引受に就ては中小形の角、平は定期でも減少した位だから先物で引受ける餘力はあらう筈なく、大部分は引受不可能となつた。

大型は大體申込通りの引受をなし結局棒型合計 4,700 吨の引受となつた。

2、3月積鉄力板の締切

品賤れと需要旺盛の今日先物としての賣出數量が依然として 800 吨と判明してゐては態々申込の必要も無いので賣出と同時に割當て次表の通り決定した。

向先	區別	2、3月積鉄力板申込及引受高		
		申込高	引受高	計
東大 名古 其	京	—	100lbs	—
	阪	—	86	224
	屋	—	135	288
	他	—	9	22
	計	—	10	26
計	—	—	240	560

2、3月積小型山形鋼の締切

向先	區別	2、3月積小型山形鋼申込高及引受高					
		申込高			引受高		
東大 名古 其	京	555	1,115	1,670	285	405	690
	阪	790	1,675	2,465	360	500	860
	屋	70	115	185	49	60	100
	他	32	63	95	15	35	50
	計	1,447	2,968	4,415	100	1,000	1,700

申込數量は前回より約 1,500 吨減少したが依然として需要旺盛を極め 4,500 吨と云ふ大きな數量となつた。現在果して市場に之れだけの消化力があるか何うかは疑問であるが、品薄には相違無く其點共販としても充分考慮する事を約してあるので引受數量は大いに奮發して 1,700 吨とした。締切日 18 日

2、3月積線材の締切

買手の希望通り内地向 10,000 吨、輸出向 1,500 吨と賣出數量を奮發して大いに努める事としたが、保税と供託品が潜在して居るとは云へ現在までは事實線材の輸入は極減してゐる上に製品市場の需要依然として旺盛なので申込は必然實態を現さず、所謂申込に過ぎない事となるので前月通り之を省略して共販に於て適宜に割當て別表の通り決定した。

2、3月積線材申込及引受高

向先	區別	申込高			引受高		
		神戸	製鐵所	計	神戸	製鐵所	計
内地向	東	—	—	—	—	3,052	3,052
	京	—	—	—	4,500	2,138	6,638
	阪	—	—	—	—	210	210
	屋	—	—	—	—	100	100
	他	—	—	—	4,500	5,500	10,000
輸出向	計	—	—	—	700	800	1,500

備考 輸出向は 3、4 月積

2、3月積黑板共販締切理事会—申込 6 萬 7,000 吨

月日場所 1 月 23 日 大阪中央電気俱樂部

出席者 川崎、製鐵、中山、徳山及び日鋼

議 事 2、3 月積黑板締切に關する件

1、薄物部 現實の在庫不足と思惑的假需要の二重奏により申込數量は依然として旺盛を極め先月の約 6,000 吨増となつた。引受の數量は賣出しの際聲明した範圍を妥當とし結局内地 11,500 吨、輸出 1,000 吨に決定下の通り割當をした。

1、厚物部 薄物と同様の事情により約 3,000 吨の申込増加を見たるも結局約 5,000 吨の引受を決定して是亦次の通り割當をした。

イ、申込數量 薄物部 内地 35,738 吨 輸出 7,615 計 43,353

厚物部 A 10,314 B 8,187 C 5,498 計 23,999

ロ、引 受

薄物部	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
内地	6,600	1,850	1,900	800	350	11,500
輸出	525	155	140	130	50	1,000
計	7,125	2,005	2,040	930	400	12,500

厚物部	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
A	1,500	200	150	456	120	2,426
B	625	—	50	600	140	1,415
C	375	—	—	640	140	1,155
計	2,500	200	200	1,696	400	4,996

3、4月積厚板共販締切理事会—申込 3 萬 3,000 吨

月日場所 1 月 24 日 製鐵所東京出張所

出席者 浅野、東海、製鐵

議 事 3、4 月積厚板締切に關する件

21 日に締切りを行つた、3、4 月積厚板は申込不相變多量で 3 萬 3 千 500 吨を超へた。前月の 4 萬 3 千 500 吨から見れば若干は減少したが、之れは欲望が減じたりと云ふよりも共販の賣出得る數量の全貌が追々と明瞭になるに従つて、寧ろあきらめが付いて來た事に原因して居ると見られて居る。

又一方申込の各社間の色々の戦略戦術もあるので、兎に角相當申込まなければならないと云ふので結局此の様な數量となつたものと思はれる。組合各社が足許を見られて居る間は此傾向は當分已まなしいものと思はれる。理事会の席上、實際これだけの數量を出したらどうだらうと云ふ話もあつたが、慚い慚いと云ふ 3,000 吨の賣出でも全然休んで居るシャーも見當らず要するに引受けられても困る大量だと云ふことは確實であると云ふ結論に到達した。

引受は 3,000 吨を標準とし結局やり繰りの都合上 120 吨の増加をして 3,120 吨となつた。

3、4月積厚板申込及引受高

向先	區別	申込高					引受高			
		川崎	浅野	東海	製鐵	無指定	計	耳付	定尺	切板
東大 名古 其	京	1,550	3,600	400	5,225	3,120	12,895	—	—	—
	阪	3,100	1,000	—	4,450	9,360	17,910	2,890	230	—
	屋	—	—	—	200	20	220	—	—	—
	他	—	—	—	518	417	935	—	—	—
	計	4,650	4,600	400	10,393	12,917	32,960	—	—	—

ブラツセル齋藤囑託通信

1 月 30 日入電 市場は閑散ながら賑り。相場は次の如し。

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B. S)
2—7—0	2—6—0	2—8—0	2—3—0
鋼 板	シートバー	ビレット	
($\frac{3}{16}$ ")	(asso. ted)	(4")	
2—1—6	2—1—0	2—0—0	

8 年 1 月 16 日 發信 本年最初の市日は年始として例年の通り閑散なれども多少日本支那方面輸出商談進められ先行高見込にて手

堅く保合ひ申候

愈々來週水曜日には當地にて國際鋼塊「カルテル」再結成の具體的協議會あることゝてこれも亦相場の強氣材料の一と存ぜられ申候

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2— 7—6	fr. 470'00
Angles (")	2— 7—6	470'00
Joist N. S.	2— 1—0	445'00
" B. S.	2— 3—0	—
Hoops	3—10—0	—
Wire Rod	4—10—0	785'00
Plates (3/16" or 5mm)	3—17—6	570'00

東 西 市 況—疲れ氣味

前旬の荷動きの悪いのは帳端關係と見て、來勤には相當期待を繋いで居たのが全く裏切られて荷動きは益々鈍く従つて相場も概して下押し氣味と見られて居る。

實需は大して衰へた様にも思へないが、數日前に爲替が硬化したのを眺めて一寸手を引いたらしい形勢もある程敏感となり、先は先のことゝして目先外注だ、大量積出だと云ふ掛聲もあること故此處當分形勢觀望の氣持ちとなつたことが大なる原因と思はれる、要するに疲れ氣味と見て居る筋が多い様である。

東 京 市 況

丸 鋼 成行として表面に現はれた値段は前旬と大して變らぬが氣配としてはベース物迄はいくらか軟化氣味で賣行も摺々しからず前途にも今迄の様な期待は持つて居らぬと云はれて居る。然し昔とは異り市場統制機關の丸鋼組合も嚴存して居ることゝて大して悲觀しては居ない模様である。中丸以上は品拂底に堅調。

角、平 鋼 角、平そのものとしては品不足であり入荷も不順調な爲め硬化の道程にはあるが、丸鋼が一時の様な元氣が無い爲め思ひ切つて上伸するだけの力はなく御主人の鼻息を窺つて居るから、丸鋼が若しも轉換する様な事があれば當然爆發する様傳へられて居る猶此内訌的の空氣は大部外注へ走らした様にも云はれて居る。

型 鋼 等邊 50mm は先日若干の積出しを見たが焼石に水で再燃し初め、其他のベース物も 11 圓を最低として堅調を續けて居る不等山も共販サイズは不變大型物は大量積出に遭遇したものは一氣に下押し、品掠れとなれば急反撥すると云ふ状態を繰返し、溝形は概觀して品不足を訴へて好調、特に 100mm—150mm 迄は荷動き活潑と云はれて居る。工形は愈々往昔の鈍重の本領に還り初めた觀があつて不牙、其内でも 24" 以上の物は昔と異つて市場へ來る様なものは殆ど跡を絶つた感があると傳へられて居る。

鋼 板 外注の脅威を眞先に感じ初めたのは鋼板である。相場に現はれた處を見ても 5、10 圓方の下放れで花形 1.6mm の落調は云はずもがな 2.3 も 17 圓が 16 圓 50 錢堀みに反落し 3.2mm も同様、只 4.5 がいくらか氣を持つて居るが 6.0mm に到つては 13 圓何 10 錢の賣物が出たなどゝ益々軟化し只 8mm 以上の厚物が心細げに獨り比較的堅調を保つて居る。

大 阪 市 況

丸 鋼 年頭には舊臘の情性で急反撥を見せたが昨今では舊正月でもあるし、又年越しもせねばならぬとあつて市中商内が幾分鈍つた模様である。而し東京も昨今ではジリ高歩調にある様子で相場はむげに下押し様な事は先づあるまいと見られ、むしろ先行については樂觀を傳へられてゐる細丸は伸鐵方面よりの荷廻り順調なるため今一段の飛躍は見られまい。9mm は當所の定期賣出數量も大いに制限されてゐる上に伸鐵方面も材料の關係上安値には出來ざるため市中極端なる品掠れにて従つて氣配は駭りを傳へられてゐる。12mm

は民間メーカーの極度の生産制限にて市場品薄となり伸鐵も高値を唱へてゐる關係から相場はカツチリして居る。中丸は市中品皆無にて相場はぐんぐん昂る一方といはれ最近外注も相當な數量成立した模様である。太丸は市中在庫は普通に荷動きも弗々ある所から手堅く保合つてゐる。

梅 一 輪 々 々 づ つ の 暖 か さ

角、平 鋼 角鋼の市中在庫はさして多い方ではなく賣行弗々ある所から相場は比較的カツチリしてゐる。平鋼は當所の積遅れに加へて伸鐵方面も強腰である關係から相場は異常に多いやうである。殊に民間寸法ものは手當薄にて相場も一段と目立つて高い。

型 鋼 小形アングルは過般共販より外註防遏のため賣出噸數制限緩和を實行する旨發表せしも品拂底の市場はこれをよそ顔に差當りの必要に迫られ、外註に走つた手合も相當あるといはれ氣配は意外の強調を示して居る。中形アングルは共販の積遅れにて市中在庫愈々減少し、一方インフレ景氣の波に乗つて賣行も旺盛なところから相場は益々伸びる計りと云はれてゐる。6×50, 6×65, 9×75 等は東京より相當の入荷を見たが順次消化されてゐる。大形アングルは最近當所よりの相當纏つた積出に市場では面喰つた態で従つて相場は下向き歩調に轉じた様子である。チャンネルは相變らず品掠れにて遂に外注値段を上廻るにいたつた。ジョイストの市中ストックは大して多い方ではないが賣行も相當あるので氣配は小駭りを傳へられてゐる。

鋼 板 1、2 中板は昨年末に相當外注品の入荷を見たが、品拂底の市場には焼石に水の有様で昨今も引續き外注品の入荷あるも順次消化されてゐる程の活況振りで目先も相當に期待されてゐる。6mm は前者に反し外注品の入荷のため相場は幾分下押し氣味と云はれてゐる。

線 材 ロッドも御多聞に洩れず共販よりの出廻り悪きため市中品掠れにて相場は上昇の一途を辿るのみと云はれてゐる。一方製品界は引續き異常の活況を呈してゐるので目先尙樂觀する向が多い

鐵 力 板 目下需要期に入つた關係から商内も相當旺盛を極め出廻り不順調と相俟つて相場は別表の如く遂に 170 封度 30 圓臺据えとなつた。而し外注品も昨今は相當入荷があるのでこゝろが天井打ちと見る向きが多い。

當 所 生 産 高 訂 正 通 知 昭和 7 年 6 月中本所品種寸法別生産高表(第 204 號)「鐵と鋼 第 18 年 9 號 1050 頁」に對する表中次記の通り訂正す

小 形 角 鋼											
誤	12mm	13	16	19	22	25	28	30	36	計	
	4	126	1	23	78	44	108	143	196	723	
正	36mm	32	30	28	25	22	19	16	12	計	
	4	126	1	23	78	44	108	143	196	723	
鋼 塊						誤 正					
普 通 鋼 塊						9,973 99,725					

販賣旬報 第220號 昭和8年2月10日

製鐵所販賣部

4月積美板會—番物 15圓上げ

月日場所 2月2日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、高島屋及び製鐵

議事 4月積美裝鋼板賣出に關する件

美裝鋼板は要するに中板、黒鉄等に加工したるもの故其決定値段も是等の振合を考慮に入るゝ必要あるが、中板、黒鉄兩共販が各異なる立場にある爲め其建値も甚だしく相違し、是等の價格を標準とする時は大幅の値上げを必要とするも、例の漸進思感を加味し、外注値段を照合し猶此鋼板が市場向ならずと云ふ特異性に鑑み結局18番以下15圓上げ、16mm以上3圓上げと決定した。

賣出數量は前月通り415噸とし其内1耗未滿は80噸以内のこと、鶯、鳩は各半數宛引受とし、締切は9日

4月積賣出—三S會

月日場所 2月3日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、三菱、高島屋、芝浦、日立及製鐵

議事 1)、前月の三S會の際の申合せにより値上の條件はあるも、今月は6日より適用せらるゝ運賃のsur charge 20%の徹廢ありたるのみならず、爲替も稍硬化し、加之海外は大勢軟調に傾きつゝあるを以て前日約束の適用を見合せ是非据置にせられたしと云ふのが買手の希望であつた、之に對しては本國の硬軟も未だ實質的に現はれたものにあらざ、單に運賃關係のみにて、之を以て前月の約束を反古にする程大なる情勢の變化とも考へられざるを以て約束通りT級7圓、B級5圓の値上げすべしと主張し其通り決定した。

2)、數量に就ては約1,000噸即ち1ヶ月分許りの積遅れもあるを以て買手側に於て今回の値段が買悪き方は相當減額するも一方法と思ふのみならず、此の工場は買手の方にも自己の工場の積りにて將來の買付數量も適宜考慮されたと希望したるも買手側も實際工場操作の關係もあるを以て申込數量全部引受られたしと申出でたるも當所としては最高能力が限定され居る故是非1,200噸に止められたきも、日立に於て甚だしく困却し居るを以て此分若干を特別に加へて1,287噸の引受を決定した。

3)、a. 工場の増設に就ては企圖を有し、現在實績として1,000噸位あるを以てロール増設が實現すれば1,400噸位迄は引受可能なるが、増設の爲め一時工場を休止することも考察する必要がある故實施の時期は未だ明言し得ずと云ふことであつた。

b. 今迄裸散積を適用しありたるも、積込の手續と製品の破損等あるを以て將來全部バンドとし裸散積を廢しすることゝ決定した。

LATEST CURRENT PRICES OF ELECTRICAL STEEL SHEETS

3rd Feb., 1933

Remarks	English (Ex. 1/2, 1/4)		German (Ex. \$ 21'00)
	Stalloy (T)	Lohys (B)	Bismarkhutte (B)
Cif or C. & F.	£ 27-11-6	£ 21- 2-6	\$ 60'00
Yokohama			
Less freight reduction	3-9	3-9	—
Net cif. Yokohama	£ 27- 7-9	£ 20-18-9	—
Exchange	¥ 443'75	¥ 339'25	¥ 285'71
Marine Insurance	—	—	0'7% 2'00
Interest 1'3%	5'77	4'41	3'71
Import duty	6'77	6'77	6'77
Landing charges	1'10	1'10	1'10
per long ton	¥ 457'39	351'53	¥ 299'29
per 1,000 kgs.	¥ 450'19	345'99	¥ 294'58

c. 厚物の値引は生産費の關係上 2、3 ヶ月中に徹廢したき意向なるを以て豫め使用者に注意を喚起し置かれたし。

4、締切 7日

4月積素鋼板賣出値段

(イ)電働機用素鋼板 B1級 函入のもの1噸に付 金305圓 裸バンド1噸に付 金25圓 (ロ) 電働機用素鋼板 C1級 函入のもの1噸に付 金325圓 (ハ) 電働機用素鋼板 D1級 函入のもの1噸に付 金345圓 (ニ)變壓器用素鋼板 T1級 函入のもの1噸に付 金420圓 (ホ) 2級品 2割以内混入差支へなし 2級品の賣價は各々1級品賣價の金30圓引のこと (ヘ) 素鋼板厚物は T 級品は金10圓引其他のものは各種共5圓引のこと。

2、3月積三軌會—10圓上げ

月日場所 2月6日 大阪日本棉業俱樂部

出席者 三井、三菱及製鐵

議事 2、3月積重軌條賣出に關する件

(1) 値段 外註値段 cost は殆んど變化なく、只例の運賃の値下り分だけ安値となりたるも未だ適當別表の通り161圓見當となる、當所としては今迄外註値段との値開きを無視して他鋼材の尖端を切らざる様自重しありたるも他鋼材も相當高値となり、且つ現在にては原料騰貴の關係等もありて如何とも爲し難く、餘りに値開きを置くを得ざる状態となりたるを以て15圓程度の値上げしたしとの事に對し買手側は重軌條は此際餘り値上げするは、益々古軌條の利用を喚起して商路を阻止するを以て据置きに願度きも、已むを得ず値上げするとしても實需家の立場も考慮し、徐々に値上げして苦痛を緩和すると共に買氣の誘發に努むるが至當と考ふるを以て10圓上げとせられたしと提案し、結局次の通り決定した。

下記 重軌條一般賣値 140圓 (10圓上げ)

(即時施行次回三軌會迄適用)

(2) 外註値段次の通り

Sanki-Kwai

Tokyo, 4th. Feb. 1933

Heavy Rails & Splice-bars only

I.R.M.A. Price(Average)

F. O. B.	£ 5-10-0	
Possible reduction	10-0	
Net	£ 5-0-0	
Freight	1-1-0	
Cif. Japan	£ 6- 1-0	
@ 4'86	\$ 29'40	
Ex. @ \$ 21'00	¥ 140'00	
Int. 1%	1'40	
Import Duty	21'71	
Land'g charge	'80	
per long ton	¥ 163'91	
per kilo ton	161'32	Say ¥ 161'00

3、4月積賣出し六軌會—4圓上げ

月日場所 2月6日 大阪平和俱樂部

出席者 日本レール、島田、岩田、五十嵐、岩崎レール及製鐵

議事 3、4月積輕軌條賣出に關する件

六軌會も本日の會合を以て30回を重ねることゝなつた。今日の輕軌條界も漸く一時の危期を脱し昨秋來需要頗る劇増し、本年も匡救豫算に據る増加は益々切實となる一方滿洲方面にも多大の實需の喚起あるを以て特に製作に配慮されたし、軌條は他鋼材と異なり實

需に符合して引合ふ外、全然思惑を許さざる故製鐵所への注文は全く緊要缺くべからざるものなるが、現在に於て 9,000 吨近くの積遅れあり、之が督促愈々急にして然も先行相當數量の受注を願ひ度き故此邊お含みの上供給方御配慮願度しと云ふ買手希望あり、又値段に就ては外注は 18 弗位にて今日の爲替 21 弗にて換算して 108 圓位となり、市中にも大なる變化を認められざる故、値上げとしても小幅に止むべく又据置と云ふも一理あるも、それよりも數量の増加を望むと云ふ意見であつた。當所としては今の生産計畫は不況の大底の 7 年 3 月に立案したるものにて之を只融通し得る範圍内にて増産したるに止まり、明年度は又新らしき計畫にて進めば相當の需要に應ずべく、滿洲方面の輸出に就ても相當考慮も拂ふ事が出来るかと考へ、値段は外注値段の實際出來得る點を参照し又原料高を加味し 5 圓程度の値上げを提案したるも種々協議の結果六軌會は次の通り 4 圓上げに決定した。

一般向賣出値段

イ、10 哩未満 108 圓 4 圓上げ ロ、10 哩以上 110 圓 4 圓上げ
數量 買手希望數量は 3 月積、4 月積にて 7,000 吨位で非常時を加味させて是非と云ふことであつた。當所は之に對し出來得る限り御希望に應ずべしと云ふ程度の承諾をなした。

3、4 月積小型山形共販賣出理事會—組合繼續、値段區々

月日場所 2 月 4 日 製鐵所東京出張所

出席者 釜石、製鐵及三井

議 事 1 3、4 月積小型山形鋼賣出に關する件

(1) 値段 外注値段は f. o. b. としても幾分軟化した模様であるが其に之を掛けて freight が安値に變化した爲め cif か前月に比し格段の安値を出現し 最少 25 仙最大 1 弗 50 仙の落調を示したる爲め河岸着はかなりの値下りを示すに到つた。内地市場は買氣は大體一巡の模様なるも相場は注入不足が原因して未だ高値を持續して居る。斯る状況の下にあつて如何に賣出値段を決定すべきやに就き種々意見の開陳があつた。

一は寸法に依り外注と照合して若干値下のものも出現したが、市中も相當高値にある際に實際外注するとすれば此値段よりも高値につくを以て、今直ちに外注するが如き虞なきのみならず、他鋼材への影響をも考慮せらるゝを以て今回は形勢を觀望する爲め据置きとなし、値段は例により理事長一任なれば其後の状況により變化せしむべしと云ふ實質論と、共販としては外註追従と云ふ不變の鐵則を掲げて市場に望み居るものなれば、之に順應して高下するが將來共販の聲價を高むる所以にてあまりに目先の市場のみの状態などを加味するは將來に於て大なる禍根の因を成すのみならず、他鋼材の影響云々も若しも鋼材界の現下の實情が斯る事の爲動搖を來す如き不安定のものなれば、此共販が如何なる態度を採るも必ず崩壊すべきものにて、其は決して小型共販の責任にあらざれば、宜しく共販は主義として外注標準の大道を歩むべしと云ふ理論派も出で、又主義は勿論遵奉すべき處なれど實際の状況も幾分加味すべしとの妥協論も出現し、結局不取敢外注値段との間に値轄を有する B に於て 1 圓上げ、C に於て 1 圓下げ、A は据置にすべしと云ふ意見に一致したるも爾餘の所置は理事長に一任と決定した。

(2) 數量 數量は實際市場の需要を眺めたる上共販にて適宜決定することとした。

2 組合繼續に關する件 小型共販組合は 3 月 31 日を以て期限満了の處 4 月より 9 月迄 6 ヶ月間繼續の事に決定した。

外注値段段次の通り

Small Size Equal Angles Quotation

Tokio Feb. 4th. 1933.

Specification	Hamburg tel. Feb. 3th. '33. @ 20 1/8	To day's Market Price	Mar / April shipment
$\frac{1}{8}'' \times \frac{3}{4}''$ (3x20)	G. \$ 16.50	¥104.10	¥ 125.00 @ ¥ 105
$\frac{1}{8}'' \times 1''$ (3x25)	16.00	101.75	120.00
$\frac{1}{8}'' \times 1\frac{1}{4}''$ (3x30)	16.00	101.75	120.00 @ ¥ 101
$\frac{1}{8}'' \times 1\frac{1}{2}''$ (3x40)	16.00	101.75	120.00
$\frac{3}{16}'' \times 1\frac{1}{4}''$ (5x30)	16.00	101.75	108.00
$\frac{1}{8}'' \times 1\frac{1}{2}''$ (5x40)	15.00	97.04	110.00
$\frac{1}{8}'' \times 1\frac{3}{4}''$ (4x45)	14.50	94.69	105.00 @ ¥ 97
$\frac{1}{4}'' \times 1\frac{1}{2}''$ (—)	14.75	95.87	108.00
$\frac{1}{8}'' \times 1\frac{3}{4}''$ (6x45)	14.25	93.52	110.00
Import Duty		¥ 25.06 per L. T.	
Charges & Int.		1.90 per L. T.	
1 K. T. =		0.9342 L. T.	

3、4 月積線材共販賣出理事會—内地向 5 圓上げ、輸出向据置

月日場所 2 月 7 日 大阪日本棉業俱樂部

出席者 神戸、製鐵及 5 社

議 事 3、4 月線材賣出に關する件

(1) 買手希望 1) 賣出案 相當積遅れあり緩和の意味で不取敢 1 ヶ月賣止め願ひ度し 2) 若し賣出すならば

A (イ) 値段 据置 内地向 125 圓 輸出向 115 圓

(ロ) 數量 從來通り B(イ) 値段 据置 (ロ) 數量 從來通り

(ハ) 受渡 4、5 月積

3) 既約品は製鐵所に於て特に積遅れ甚し、至急積出され度、豫定御通知願度し

説明 積留の緩和は其後一向實現されず、2 ヶ月分位の數量を減ずるを得ざるを以て此儘推移する時は業界變轉の際最高値段に悶着の起る素因を作るを以て寧ろ今日に於て苦痛を忍びて 1 ヶ月賣出を休むが穩當なるべし、又限月延長の議もありたるも此際一層の危険を踏むは妥當ならずと云ふことに結着した。猶賣止めとする時は外注を誘發する虞ありと云ふ議論もありたるも之も談合すれば解決すべしと云ふ意見に一致した。

若し已むを得ず賣出をなすとすれば、危険負擔を減少する意味より据置きを希望す、其他海外の状況に就ては近來甚だ波瀾多く 4 日迄は運賃値上げにより 24 弗 70 仙まで下押したるも、4 日にインゴット・コンバインが繼續の報を入ると同時に奔騰し、今日は概ね 25 弗 50 仙の舊値段に還りたと視るが至當なるべしと云ふ説明があつた。

賣手としては買手の積遅れ云々も契約面は 2 ヶ月なるを以て其意味より云へば神戸としては殆ど積遅れなく、製鐵所も 1 箇位の積遅れに留まり、他鋼材の振合より見れば斯る混雜の際大した積遅れとも考へられず、又 3、4 月は工場は最も能率も上り従つて買手の考慮もさることながら聊か杞憂にも屬するを以て市場の騰勢を煽らざる意味より兎に角 3、4 月積を賣出すこととし只賣出數量を調節し

内地 (3、4 月積)	製鐵	神戸	計
	3,000 吨	5,000 吨	8,000 吨
輸出 (4、5 月積)	製鐵	神戸	計
	500 吨	1,000 吨	1,500 吨

値段は外注値段も別項の如く奔騰の勢は窺はれ可なり値轄を有するも漸進主義により 5 圓上げの下記に決定した。猶輸出は据置きとした。

内地向 130 圓(5 圓上げ) 輸出向 115 圓(据置)

締切 1 月 10 日

WIRE RODS

7th. Feb. '33

C. I. F.	\$	25.50
Exch. \$ 21¼	¥	120.00
Iht. 1.3%		1.56
Landing		.90
	¥	122.46
Inb and per 1,000 Kgs		120.53
Duty		21.67
	¥	142.20

1 月中三港輸入概況一激増

来るべきものが来り、起るべき事が起つた。昨年 6 月以來激減の一路を辿り 1 ケ月 5,600 吨を標準とする程度まで追ひ詰められた輸入も時の勢に攻め立てられて噂通り俄然先月の倍増約 1 萬 2,000 吨となつた。

何が輸入状態をして斯く激變せしめたか？ 曰く 10 月頃市場狂奔の際先高見越の強氣筋が思惑つてその入るのが丁度今であると云ふ一事に盡きる。成る程需要の急増に適應出来ない供給力が外注に走らせた一因でもあつたには相違ないが爲替安、海外高、關稅障壁を飛び越へてまで外注しなければならない程需要が擡頭し、供給が不足したと言はれた事が無く、而も今月の輸入品を見るに實需向と思しき物の數量は變らずに増加したものは鋼板 0.7mm 超と線材と云ふ代物なので思惑が然らしめた激増であると見られても致し方が無いのではあるまいか。2 月も 3 月も輸入増加の儘推移するのであらうが、現在の市況が尙一層の飛躍をするとは思はれず、需要擡頭に確たる根據が有るわけでもないの、今後は此の外注が將來豫定されてゐる増産と觸れ合つて我鐵鋼界に餘り良い結果を招来しないのではあるまいか。1 人で上手に立ち廻つた氣で密と手を出してをいたのであらうが、誰も彼もが同じ横道に足を入れてゐたので結局蓋を開ければ隣近所が御親類で一向に甘い汁が吸へないのが落ちである。總てに聰明、叡智の御歴々がいつまでも斯ういたちどつことを繰り返すのであらう。そこで痛感されるのが「昭和 8 年の一課題」たる海外市場の育成で一寸眞剣に研究して戴き度いものである。

外から牽制したり、制裁を設けたり、自由を束縛するような考にはなり度くないが、得てさういふ必要を想ひ出させるやうな状態を現はしたと云ふのが今月の輸入界である。

2、棒鋼は約 800 吨で最近 2、3 ケ月の數量に比すれば多くなつてゐるが相變らず特殊品が大部分で、型钢も溝形の 100mm×50mm が 200 吨輸入されたが實需向と云はれ條鋼類には思惑の跡が認められない。

鋼板 0.7mm 超は 11 月以來今日あるを豫感されてゐたが、遂に馬脚を現はして約 4000 吨が輸入されるに至つた。

神戸は比較的温和で 350 吨の中、中板の思惑品は 100 吨、厚板のそれは 50 吨で其の他の 200 吨はシャベル用、ボイラー用等の特殊品であるが大阪 2,900 吨の中、中板 1,550 吨、厚板 1,180 吨、横濱 470 吨の中、中板 150 吨厚板 310 吨は市場向らしく三港計 3,340 吨が市場にばら撒かれる事となつた巷間 尙ほ傳ふるに今後も一層此の部の輸入は増加するだらうとの事である。折角出た厚板、中板の芽を刈る者は他ならずその恩恵を蒙つてゐた業者御自身である。尻は誰にも持つて行きようもない、精々後始末も御自身に願ひ度いものである。それに引き換へて 0.7mm 以下は美事な統制振を示してゐる。因果應報其の結果は近き將來に現はれるのではあるまいか。

鉄力の 5,000 吨、軌條の 50 吨、鋼管の 300 吨其の他の 450 吨は

可も無く不可も無く、從來辿り來つた各々分相應の起伏を畫いてゐるのに過ぎないが、線材には今月も亦相當注目すべき點がある。即ち稅濟された物は 1,200 吨であるが、神戸には保稅品として 1,100 吨大阪に供託品として 1,200 吨が積まれてゐる事である。横濱から保稅品に就て何の報告も無いが多分横濱にも相當入つてゐると想像されるので、彼是 3,000 吨の線材が何日内地市場に振り向けられるかも知れないと云ふ事を覺悟され度い。

3、斯くて昭和 8 年劈頭の輸入は波瀾含みに明け初めたが、何等か善所の方法を見出して大過無く終りたいものである。三度考へれば矢張本邦鐵鋼界の供給力に伸縮性を植へつける事に依つて生きべき道を求むる事となるのではあるまいか。

海外運賃値下げ 2 日三井、三菱への入電によれば、海外運賃は從來 20 志に 20% の surcharge を加算しありたるに 2 月 6 日より此 20% の surcharge を撤廢したる由、猶適用の品種に就ては Iron and steel とのみにて詳細不明なり。

ブラツセル齋藤囑託通信 2 月 7 日入電

市場閉散、相場一般に 1 志方下押す。

國際鋼塊組は愈々更改されて向ふ 5 年間存続の事に決定した。

8 年 1 月 15 日 發信 休日明の市況は入氣頗る好轉し樂觀人氣に満ち、今週は輸出商談各方面共進められ、殊に棒鋼薄板の取引多く東洋向 4 萬兩内 3 萬兩を日本向注文成立せしと申居候、市日の翌日即ち 12 日より愈々國際鋼塊カルテル再結成の具體的條件決定の國際會議當地に開催せられ先般の巴里の豫備會議の決定條件を基礎として早朝より集合、夕刻 7、8 時頃迄討議行はれたるも結局纏まらず月末（多分 28 日）再び當地第 2 回會合の手筈に取極め解散せられ候

會議はルクセンブルグ、アルベド社總支配人にして舊カルテル組長たるアロイズ・メーメル氏司會の下に開かれ、専ら再結成の基礎條件たる生産割當量に就き各組合國はそれぞれ統計調査委員會の作成せる 1931 及 1932 年度生産數量報告を基礎として議論を進めたるも白耳義ルクセンブルグ委員は平均生産量の公平なる數を得るには輸出状態の常態なりし 1930 年 10—12 月實際數量を考慮に入れざる可らずと主張せるも、獨逸代表は異議を唱へ 1930 年下半年は白耳義の輸出値段は頗る低位にありしため輸出を獎勵せしめたるにて公平なる數字にあらずとし互に一致を見ず、かくては第 2 段の計畫たる國際共販機關組織の討議に移るべき時間なきため遂に基礎的割當數量の討議繼續と共販機關組織討議のため再びブラツセルに近く（月末）再會合を約し閉會致し候

東 西 市 況一鈍 重

強氣の自信力にも相當根強いものがある爲め、霜枯れの 2 月に入つてもそう無暗には押さないが、兎にも角にも一應峠を越したと云ふことには意見が一致して居るので相場に腰弱い處のあるのは争はれない事實である。一方弱氣は弱氣なりに色々の理屈は付けられるのみならず、利喰ひ千人力の思想がこれも深く喰ひ入つて居るので、茲許東西共先行強弱感が交錯して相場も聊か亂調子の徴が現はれ初めた、特に大型形物が最も甚だしい様に見られて居る。

従つて全般を綜合して見ると舊正月や荷動き不活潑と云ふ理由の外に前述の原因が働きかけて居る爲め何となく強弱共に冴えず、鈍重と云はれて居る。

東 京 市 況

丸 鋼 6mm 平凡、大阪より伸鐵物の出廻りあつて寧ろだれ氣味、12mm は 4 割減産緩和の掛聲は聞いたが、實質的には未だ一

向響いて来ないので強調 9mm 及ベース物は先物は安値入手困難であるが、現況としては協定値段の支柱によってどうやら支へて居る程度の軟弱振りであるが、中丸以上は入荷杜絶して品切れとなり硬化を續けて居ると見られて居る。

角、平鋼 角、平は漸く全般的の品不足を訴へて駈り、特に平には切れ物散在し⑤分野では 6×22, 25, 32 など 13 圓捌き民間分野で 12×50, 65 が全然出廻らぬ爲め 14 圓と上放れた。

型鋼 等山 50, 65 は再び奔騰氣勢となり其他も品薄に駈りを傳へられ不等山の共販分野物も堅調不變であるが、大型等山は所謂重箱積出の煽りを受けて反落急に 10 圓臺割れさへ傳へられて居る溝形は 65×125, 3×6 未だ緩和されず 20 圓近くを唱へるゝ狂騰振りで何れは廻り来る悲運までの命を樂しんで居る。其他も大なる變化は認められざるも入荷の聲が聞こえれば天下放れを演ずるだけの準備はある程腹の中は軟化したと見られて居る、工形は例により溝形程活況は見られず眠れる如く醒めたる如き商況を持續して居る

鋼板 1'6 も外法の脅威に思ひ切つて反落を續けたが此處へ来て一寸底入れの感あり、大阪方面で突飛な安値もある様な噂であるが、それは小口安賣で買集めの下心からで、何でも 18 圓位を目標に買進んで居るらしく大口は賣惜みと見られて居る、東京もそんな手口を真似てる模様もあつて外注も一寸睨みが利かなくなつたと云はれて居る。2'3 在庫も不足を告げず賣行も少い品だけに軟調を續け 3'2 不變、4'5 稍品薄氣味に小駈りなのに反し 6'0 だけは外注が頗る利いて今の處は殆んど底無反落の態と見られ、先行も悲觀せられ 8mm 以上は先行の入荷薄を氣構へ駈りとは云はれて居るが、環境に押され相場は一段安となつた。

大 阪 市 況

丸鋼 昨今の我鐵鋼市況は丁度このごろの日和のやうにはつきりしないやうである。勿論これには種々な原因があらうが實需を考慮せずして餘りに有頂天となりすぎて外注に走つたゝめに市中在庫は漸増の態となり、従つて相場はじり安歩調に轉じたと見るのが至當であらう。一方實需筋では國際政局不安其他を考慮して見送りの態度を持して居り、本國安と相俟つて不味沈靜の域を脱しないとも見られてゐる。兎に角近々に大量の外注品の入荷もあるとの噂なれば 3 月に入らねばはつきりした事は分らないやうである。

6mm, 8mm は最近伸鐵方面よりの投賣のため急反落を演じた模様である。9mm 以上のベース物は本國安、爲替やゝ安定の氣味ありかたがた賣行も幾分鈍つたと云はれ市中旗賣の手合も 2、3 あらはれたとの事で不訝。中丸は外注品の入荷も不見市中品薄と相俟つて相場は 10 圓 5、80 錢と光つてゐる。太丸は前旬來大した變化もなく保合を續けてゐるが、これも近々舶來品の輸入があるとの事で底意は幾分軟弱を傳へられてゐる。

寒ければぬくければ降る二月哉

角、平鋼 角鋼は先旬來何等手掛りになる好材料もなく平凡裡に推移してゐる。平鋼は當所定期物の積遅れにて市中品薄となり氣配は駈りを傳へられてゐる。3/8" は伸鐵方面も材料高にて相場も 11 圓カツテリを唱へられてゐる。

型鋼 小形アングルは市中品薄であるが何分にも伸鐵品の出廻り順調なため相場も伸力に乏しい。中形アングルは最近積遅れ品の入荷弗々あり、旁々アウトサイダーよりの手當もあり、従つて市中相場も幾分下向き歩調に轉じた模様である。然し 50mm, 65mm, 75mm 等の等邊アングルは目下極度の品薄とあつて引續き強調を持續。大形アングルは最近建築方面よりの注文減じたるため相場は

じり安歩調を辿つてゐる。チャンネル 50×100 は弗々入荷あるため先旬來 80 錢方反落を示してゐる。これに反して 65×150, 65×125 等は極端なる品薄にて相場も異常に高い。ジョイスト 75×150, 125×150 等は市中品皆無とあつてべら棒な高値を唱へられてゐる。

鋼板 1、2 中板は外注品の入荷も昨今では愈々本格的となり、それに對して需要が伴はざるため相場は下向き歩調に轉じた様子である。厚板は市中區々なる氣配を呈してゐるが外註品入荷等のため先行不安視する向が多い。

線材 相變らず品薄であるので相場は遂に 160 圓臺据えとなつた。而し買手は目先外註品の入荷を氣構へて見送りの態度を持して居るので茲許氣迷ひ商況を呈してゐる。

鍍力板 實需方面は相變らず入用買程度であるが、仲間同志の賣買旺盛を極めてゐる。外註品の入荷もあるので市中在庫は普通となつた模様で従つて相場も先旬來大した動きを見せない。

訂 正 通 知

(1) 旬報第 218 號掲載「2、3 月積黑板共販賣出理事會」及 219 號掲載「昭和 8 年 1 月中發表各種鋼材先物建値表」中の黑板薄物部輸出向決定値段は夫々下記の通り訂正す。

13 枚物 195 圓 25 圓上げ 6 呎 197 圓 25 圓上げ
7 呎、8 呎 200 圓 25 圓上げ

(2) 旬報第 218 號「東京、大阪市中相場」の中 1 月下旬とあるは 1 月中旬の誤りにつき訂正す。

(3) 旬報第 219 號「昭和 8 年 1 月中發表先物建値表」の中黑板 3 枚物の沖着 8—17—6 は 7—17—6 の美裝鋼板「1'6mm 以下」は「1'6mm 以上」の誤りにつき訂正す。

東京大阪市中相場

大阪 2 月 6 日
東京 2 月 4 日

丸 鋼			溝 形 鋼		
	東京	大阪		東京	大阪
6mm	11'30	10'00	mm mm mm		
9	9'90	"	5×50×100	12'50	12'00
12	10'40	10'70	6×65×125	18'00	20'00
19	9'90	10'00	3/8"×3"×6"	"	"
25	"	"	3/8"×3×8	11'70	11'00
50	12'90	12'50	9×90×250	12'00	11'50
65	12'70	13'50	10×90×300	11'50	"
角 鋼			工 形 鋼		
	東京	大阪	mm mm mm		
9mm	10'90	10'50	5'5×75×150	12'50	13'50
12	"	"	7×100×200	12'00	12'00
15	11'00	"	9×150×300	11'20	11'50
19	"	"	12×150×350	11'00	10'00
38	"	"	10×125×250	15'00	19'00
平 鋼			mm 鋼 板		
mm mm			1'6×3'×6'	16'50	17'50
6×38	11'30	11'00	1'6×4×8	16'00	16'00
6×50	"	"	3'2×4×8	16'30	15'50
6×75	12'00	"	3'2×5×10	17'50	16'00
9×100	11'00	10'90	6'0×4×8	14'80	14'00
12×100	"	10'20	6'0×5×10	"	"
等邊山形鋼			9'0×4×8	15'50	15'80
mm mm mm			9'0×5×10	"	14'50
6×50×50	13'50	13'50	薄 鋼 板 (13 枚)		
6×65×65	"	14'00	英 川 崎		
9×75×75	11'00	12'30	八 幡	78	84
5×130×130	10'50	10'00	鍍 力 板		
12×130×130	10'20	"	米	{170lbs 31'50	31'50
15×150×150	10'00	9'80	英	{100 18'50	18'00
不等邊山形鋼				{170 29'50	30'10
mm mm mm				{100 16'50	16'80
10×50×75	10'90	10'50	八 幡	{170 29'50	30'10
10×75×100	10'80	11'50		{100 16'50	17'00
10×90×125	"	11'00	線 材		
9×100×150	10'20	10'50	No. 5#	145'00	160'00
12×100×150	"	10'00			

備考 單位 100 疋につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。
線材は疋當り。鍍力板は 1 箱當り。

東京大阪市中相場 (單位噸) 東京大阪

12月26日 1月8日 1月18日 1月25日
12月26日 1月6日 1月16日 1月28日

寸法	12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸鋼								
6mm	11:00	11:50	11:50	11:50	11:50	11:00	11:50	11:00
9	10:00	10:80	10:30	11:20	10:00	10:50	10:00	10:70
12	10:80	11:50	10:80	11:30	10:60	10:90	10:50	11:20
19	10:00	10:90	10:30	10:80	10:00	10:50	10:00	10:60
25	"	"	"	"	"	"	"	"
50	11:80	12:00	11:80	12:00	12:50	12:00	12:30	13:00
65	12:00	12:50	11:70	13:00	12:00	12:40	12:20	13:50

寸法	12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
角鋼								
9mm	10:00	11:00	10:60	11:00	10:80	11:00	11:00	11:40
12	"	"	10:20	"	"	10:70	"	11:00
15	9:80	10:80	10:30	10:80	"	10:50	11:10	"
19	"	"	10:00	"	11:00	"	11:00	10:90
38	"	10:50	"	"	10:80	"	"	10:70

寸法	12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
平鋼								
6mm×38mm	10:30	10:70	10:50	10:80	11:50	10:80	11:30	11:00
6×50	10:00	"	10:40	11:00	11:00	"	"	11:30
6×75 品切	12:20	10:80	10:30	"	12:00	11:00	12:00	11:50
9×100	"	10:40	"	"	11:00	"	11:00	10:90
12×100	"	10:50	"	"	"	10:70	"	"

寸法	12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
等邊山形鋼								
6×50×50	13:00	14:00	13:50	12:70	12:90	14:00	12:80	14:00
6×65×65	12:00	13:00	12:00	"	12:30	13:00	12:50	13:50
9×75×75	11:50	12:00	11:50	12:30	11:10	12:00	11:00	12:50
9×130×130	11:00	"	11:40	11:50	10:70	10:80	10:60	11:50
12×130×130	10:70	"	10:70	"	10:50	11:30	10:20	10:80
15×150×150	11:00	"	11:00	"	10:30	10:50	"	10:50

寸法	12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
不等邊山形鋼								
10×50×75	10:80	11:00	10:80	11:50	10:80	11:00	10:70	10:50
10×75×100	11:00	11:50	11:00	12:00	"	12:30	11:00	13:00
10×90×125	"	"	"	"	"	12:00	"	12:00
9×100×150	10:70	"	10:70	11:50	10:50	10:50	10:30	10:50
12×100×150	"	"	"	"	"	"	"	"

寸法	12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
溝形鋼								
5×50×100	14:00	13:50	13:50	14:00	13:00	14:00	12:00	12:80
6×65×125	20:00	18:00	22:00	20:00	20:00	20:00	19:00	18:00
3/8×3'×6'	15:00	15:00	15:00	16:00	15:00	18:00	15:00	17:00
3/8×3×8	12:50	11:50	13:00	11:00	12:20	11:00	11:50	11:00
9×90×250	13:20	14:00	13:20	14:00	13:00	15:00	12:00	13:50
10×90×300	"	"	"	"	12:50	14:00	11:80	"

寸法	12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
工形鋼								
5×75×150	12:00	12:50	12:00	12:30	11:20	13:00	11:50	13:00
7×100×200	16:00	15:00	16:00	14:00	13:00	14:50	11:80	12:50
9×150×300	13:00	14:00	14:00	12:00	12:00	13:00	11:50	11:50
12×150×350	12:50	10:50	12:50	11:50	11:50	10:00	11:00	10:00
10×125×250	14:00	14:00	14:00	13:50	13:00	17:00	15:00	14:00

寸法	12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
鋼板								
1'6×3'×6'	18:50	19:00	18:30	18:50	18:00	17:50	17:00	18:00
1'6×4×8	"	18:00	"	"	"	17:00	16:80	17:50
3'2×4×8	"	"	18:00	"	"	"	17:50	"
3'2×5×10	18:80	18:50	19:00	"	18:50	"	18:00	17:70
6'0×4×8	17:50	17:00	17:00	17:00	17:30	15:50	15:00	14:50
6'0×5×10	"	18:00	"	"	"	"	"	15:00
9'0×4×8	16:30	16:00	16:50	15:80	16:00	16:00	15:70	16:00
9'0×5×10	"	"	"	"	"	"	"	15:40

英川	12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
薄鋼板 (13枚)								
英川	71.5	73.0	82.0	80.0	82.0	84.0	78	78
八幡	71.5	73.0	82.0	80.0	82.0	84.0	78	87

米	12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
鋼力板								
170lbs	29:50	30:00	29:50	30:50	30:00	30:60	31:00	31:60
100	17:00	17:50	17:00	17:60	17:50	17:80	18:00	18:00
170	28:00	28:60	28:00	29:00	28:50	29:00	29:00	30:10
100	15:50	15:80	15:80	16:50	16:00	16:50	16:00	16:80
170	28:00	28:70	28:00	28:80	28:50	29:10	29:00	30:30
100	15:50	16:00	15:80	16:20	16:00	16:50	16:00	17:00

線材	12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
線材								
No. 5 #	125:00	130:00	130:00	135:00	138:00	145:00	145:00	155:00

備考 單位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は噸當り。鋼力板は 1 箱當り。

昭和 7 年 12 月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品	區分	神戶	大阪	横濱	12月計	前月計	本年累計	前年同期累計
丸角平等不溝工鋼板	鋼	28	185	28	241	156	6,722	9,139
	鋼	14	—	7	21	29	1,275	1,520
	鋼	96	—	11	107	111	4,975	5,294
	山形	—	—	51	51	—	792	526
	山形	—	—	13	13	1	555	312
	山形	—	5	23	28	11	565	481
	山形	—	—	—	—	—	607	1,774
	力條材	80	90	23	193	344	6,785	6,642
	力條材	2	—	—	2	1	10,739	19,997
	力條材	2,061	607	1,487	4,155	2,570	53,802	40,947
	力條材	4	1	71	76	20	3,849	4,389
	力條材	198	51	2	251	1,532	19,122	60,772
	力條材	254	29	—	283	225	9,528	7,398
	力條材	4	—	66	70	12	5,212	9,165
	力條材	200	17	527	744	642	8,470	7,915
	計	2,941	985	2,309	6,235	5,654	133,098	176,271
硫石ナク	炭酸	—	—	136	136	—	84,184	164,448
	炭酸	3	—	—	—	3	156	106
	炭酸	61	82	—	143	163	3,036	2,205
硫石ナク	炭酸	36	—	44	80	77	765	593

昭和7年11月中當所品種寸法別生産高

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		100	124	計 2551		鋼板の部		36	2	綯厚鋼板		重軌條			
小型丸鋼		計 910		等邊山形鋼計 3,798		薄鋼板		38	35	6mm		5	37K	10,330	
9mm	4,442	大形角鋼		中型不等邊山形鋼		sheets		40	1	6.5		3	50	7,673	
10	7	120mm 2		mm mm		13		4	4	計 8		計 18,003			
12	1,131	150 22		75×50 127		10		3	1	耳付綯中鋼板		附屬品			
13	3	計 24		75×65 90		8		1	1	4.5mm		3	10K用	33	
16	52	角鋼計 934		90×60 36		7		4	4	計 3		37 1,046			
18	2	小形平鋼		90×75 441		B.W.G.No.		42"	4	耳付綯厚鋼板		40 110			
19	16	13mm 22		100×75 453		30		2	8	6mm		12	計 1,189		
21	2	16 23		4'×3½" 10		計 2470		62	6	9		10	軌附計 21,194		
22	6	22 23		計 1,157		中鋼板		72	14	12		4	線釘材の部		
25	75	25 73		大型不等邊山形鋼		mm		78	20	計 26		線材			
26	3	32 344		mm mm		0.75 3		80	6	ユニバーサル平鋼		5.5mm 6,407			
28	2	35 1		125×75 503		0.85 7		1¼	6	6mm		2	計 6,407		
30	1	38 75		125×100 459		1 108		1½	6	9		4	製釘材		
32	28	44 13		150×100 1,851		1.2 33		計 4,910	耳付中鋼板		19	354	5.5mm 3,648		
34	34	計 579		7'×3½" 7		1.4 91		耳付厚鋼板		25		8	計 3,648		
36	38	中形平鋼		不等邊山形鋼計 3,977		1.5 18		mm		33		5	鋼線		
計	5,842	65mm 1		溝形鋼		1.6 1,131		2.2 2		計 168		綯			
大型丸鋼		70 3		mm mm		1.8 44		2.3 419		耳付中鋼板		3mm 34			
38mm	158	75 349		100×50 227		1.85 35		2.4 2		耳付厚鋼板		3.5 1			
40	10	80 2		125×65 420		2 182		2.5 45		mm		4.5 6			
42	6	90 87		180×75 256		2.7 2		2.6 12		6		520	8 1		
44	113	100 207		200×80 936		2.9 70		2.7 2		7		30	計 42		
46	4	125 39		230×80 379		3 362		2.9 70		8		23	線釘計 10,097		
48	22	3⅝" 173		230×90 166		3.2 637		3 362		9		330	其他の部		
50	557	4 131		380×100 140		3.5 172		3.2 637		10		162	特殊鋼條鋼		
55	264	計 992		7'×3½" 88		4 260		3.5 172		11		103	電氣爐丸 2		
60	132	平鋼計 1,571		計 3,012		4.5 614		4 260		12		1,003	計 2		
65	249	スケルブ		工形鋼		5 279		4.5 614		13		11	其他		
70	181	112mm 903		mm mm		5.5 41		5 279		14		15	外輪 228		
75	285	149 44		150×75 211		計 4,599		5.5 41		15		75	車軸 168		
80	97	計 947		計 211		厚鋼板		5.5 41		16		177	ボルト 24		
85	43	其他棒鋼		鋼矢板		mm		5.5 41		17		5	ナット 45		
90	217	引拔鋼 3		mm mm		6 1,246		5.5 41		18		11	リベット 1		
計	3,070	磨鋼 3		400×75 526		6.4 3		5.5 41		19		128	タイ 204		
大型丸鋼		計 3		400×100 794		6.5 1		5.5 41		20		10	計 670		
110mm	43	棒鋼計 12,943		400×125 1,166		7 159		5.5 41		21		90	其他計 859		
115	12	型鋼の部		計 2,486		8 517		5.5 41		22		7	鋼材計 78,156		
120	3	小型等邊山形鋼		丁形鋼		9 721		5.5 41		23		13	輕軌條		
125	17	25mm 241		4'×4" 6		9.5 14		5.5 41		24		8	6K 730		
130	36	30 275		5×4 4		10 354		5.5 41		25		32	9 867		
135	12	40 255		計 10		11 27		5.5 41		26		36	15 405		
140	62	45 113		球山形鋼		12 824		5.5 41		27		60	計 2,002		
145	22	50 89		mm mm		13 108		5.5 41		28		10	鋼板計 19,449		
150	319	計 973		150×75 2		14 97		5.5 41		29		1	軌條の部		
180	37	中形等邊山形鋼		180×75 29		15 21		5.5 41		30		2	輕軌條		
200	13	60mm 111		5½'×3" 2		16 249		5.5 41		31		1	6K 730		
計	576	100 163		8×3½ 47		17 43		5.5 41		32		49	9 867		
丸鋼計	9,468	計 274		9×3½ 40		18 29		5.5 41		33		49	15 405		
中形角鋼		大型等邊山形鋼		計 120		19 92		5.5 41		34		49	計 2,002		
38mm	62	130mm 654		型鋼計 13,614		20 61		5.5 41		35		49	鋼材計 78,156		
44	11	150 165		mm mm		22 59		5.5 41		36		49	其他計 859		
46	6	200 1,732		150×75 2		25 80		5.5 41		37		49	鋼材計 78,156		
50	228	計 274		180×75 29		27 3		5.5 41		38		49	輕軌條		
60	8	大型等邊山形鋼		5½'×3" 2		28 22		5.5 41		39		49	6K 730		
65	210	130mm 654		8×3½ 47		30 3		5.5 41		40		49	9 867		
70	5	150 165		9×3½ 40		31 8		5.5 41		41		49	15 405		
75	190	200 1,732		計 120		32 39		5.5 41		42		49	計 2,002		
80	1	計 274		型鋼計 13,614		33 13		5.5 41		43		49	鋼材計 78,156		
90	62	大型等邊山形鋼		mm mm		34 13		5.5 41		44		49	其他計 859		
計	576	130mm 654		150×75 2		35 13		5.5 41		45		49	鋼材計 78,156		
丸鋼計	9,468	150 165		5½'×3" 2		36 13		5.5 41		46		49	輕軌條		
中形角鋼		200 1,732		8×3½ 47		37 13		5.5 41		47		49	6K 730		
38mm	62	計 274		9×3½ 40		38 13		5.5 41		48		49	9 867		
44	11	大型等邊山形鋼		計 120		39 13		5.5 41		49		49	15 405		
46	6	130mm 654		型鋼計 13,614		40 13		5.5 41		50		49	計 2,002		
50	228	150 165		mm mm		41 13		5.5 41		51		49	鋼材計 78,156		
60	8	200 1,732		150×75 2		42 13		5.5 41		52		49	其他計 859		
65	210	計 274		5½'×3" 2		43 13		5.5 41		53		49	鋼材計 78,156		
70	5	大型等邊山形鋼		8×3½ 47		44 13		5.5 41		54		49	輕軌條		
75	190	130mm 654		9×3½ 40		45 13		5.5 41		55		49	6K 730		
80	1	150 165		計 120		46 13		5.5 41		56		49	9 867		
90	62	200 1,732		型鋼計 13,614		47 13		5.5 41		57		49	15 405		
計	576	計 274		mm mm		48 13		5.5 41		58		49	計 2,002		
丸鋼計	9,468	大型等邊山形鋼		150×75 2		49 13		5.5 41		59		49	鋼材計 78,156		
中形角鋼		130mm 654		5½'×3" 2		50 13		5.5 41		60		49	其他計 859		
38mm	62	150 165		8×3½ 47		51 13		5.5 41		61		49	鋼材計 78,156		
44	11	200 1,732		9×3½ 40		52 13		5.5 41		62		49	輕軌條		
46	6	計 274		計 120		53 13		5.5 41		63		49	6K 730		
50	228	大型等邊山形鋼		型鋼計 13,614		54 13		5.5 41		64		49	9 867		
60	8	130mm 654		mm mm		55 13		5.5 41		65		49	15 405		
65	210	150 165		150×75 2		56 13		5.5 41		66		49	計 2,002		
70	5	200 1,732		5½'×3" 2		57 13		5.5 41		67		49	鋼材計 78,156		
75	190	計 274		8×3½ 47		58 13		5.5 41		68		49	其他計 859		
80	1	大型等邊山形鋼		9×3½ 40		59 13		5.5 41		69		49	鋼材計 78,156		
90	62	130mm 654		計 120		60 13		5.5 41		70		49	輕軌條		
計	576	150 165		型鋼計 13,614		61 13		5.5 41		71		49	6K 730		
丸鋼計	9,468	200 1,732		mm mm		62 13		5.5 41		72		49	9 867		
中形角鋼		計 274		150×75 2		63 13		5.5 41		73		49	15 405		
38mm	62	大型等邊山形鋼		5½'×3" 2		64 13		5.5 41		74		49	計 2,002		
44	11	130mm 654		8×3½ 47		65 13		5.5 41		75		49	鋼材計 78,156		
46	6	150 165		9×3½ 40		66 13		5.5 41		76		49	其他計 859		
50	228	200 1,732		計 120		67 13		5.5 41		77		49	鋼材計 78,156		
60	8	計 274		型鋼計 13,614		68 13		5.5 41		78		49	輕軌條		
65	210	大型等邊山形鋼		mm mm		69 13		5.5 41		79		49	6K 730		
70	5	130mm 654		150×75 2		70 13		5.5 41		80		49	9 867		
75	190	150 165		5½'×3" 2		71 13		5.5 41		81		49	15 405		
80	1	200 1,732		8×3½ 47		72 13		5.5 41		82		49	計 2,002		
90	62	計 274		9×3½ 40		73 13		5.5 41		83		49	鋼材計 78,156		
計	576	大型等邊山形鋼		計 120		74 13		5.5 41		84		49	其他計 859		
丸鋼計	9,468	130mm 654		型鋼計 13,614		75 13		5.5 41		85		49	鋼材計 78,156		
中形角鋼		150 165		mm mm		76 13		5.5 41		86		49	輕軌條		
38mm	62	200 1,732		150×75 2		77 13		5.5 41		87		49	6K 730		
44	11	計 274		5½'×3" 2		78 13		5.5 41		88		49	9 867		
46	6	大型等邊山形鋼		8×3½ 47		79 13		5.5 41		89		49	15 405		
50	228	130mm 654		9×3½ 40		80 13		5.5 41		90		49	計 2,002		
60	8	150 165		計 120		81 13		5.5 41		91		49	鋼材計 78,156		
65	210	200 1,732		型鋼計 13,614		82 13		5.5 41		92		49	其他計 859		
70	5	計 274		mm mm		83 13		5.5 41		93		49	鋼材計 78,156		
75	190	大型等邊山形鋼		150×75 2		84 13		5.5 41		94		49	輕軌條		
80	1	130mm 654		5½'×3" 2		85 13		5.5 41		95		49	6K 730		
90	62	150 165		8×3½ 47		86 13		5.5 41		96		49	9 867		
計	576	200 1,732		9×3½ 40		87 13		5.5 41		97		49	15 405		
丸鋼計	9,468	計 274		計 120		88 13		5.5 41		98		49	計 2,002		
中形角鋼		大型等邊山形鋼		型鋼計 13,614		89 13		5.5 41		99		49	鋼材計 78,156		
38mm	62	130mm 654		mm mm		90 13		5.5							

昭和7年11月中當所品種寸法別生産高

(其ノ二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
合金鐵		鋼塊		鋼片		ジートバー		短尺及屑鋼					
フエロ シリコン	4	普通鋼 電氣爐鋼 坩堝造鋼 鑄	111,375 1,193 16 227	内部向	73,459	内部向	10,216	短尺	1,199				
				外部向	6,261	外部向	8,232	屑鋼	2,003				
計	4	計	112,811	計	79,720	計	18,448	計	3,202				

昭和7年12月中當所品種寸法別生産高

(其の一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		型鋼の部		乙形鋼		B.W.G.No.		耳付厚鋼板		鍍素鋼板			
小型丸鋼		邊小型山形鋼		mm mm mm		20		6mm		0.35mm			
46	1	20mm	73	100×70×60	17	計	5,114	2	578	0.43	865		
50	23	30	80	130×80×70	33			8	60	0.5	118		
75	160	40	594	150×85×75	2			9	115		106		
計	247	50	871	計	52	厚鋼板		10	146	計	1,089		
9mm	4,621	大形角鋼		球山形鋼		6mm	1,339	11	233	鉄力板			
22	49	110mm	149	mm mm		6.4	4	12	1,150	lbs			
25	74	計	149	200×75	2	7	17	13	93	170	922		
28	2	角鋼計	923	5'×2½"	3	8	121	14	64	160	4		
32	56			計	5	9	963	15	61	112	13		
34	24	小形平鋼		等邊中型山形鋼		9.5	565	16	319	107	5		
計	4,826	19mm	298	70mm	52	10	7	17	6	100	437		
中型丸鋼		22	194	75	677	11	337	18	2	95	296		
38mm	116	25	24	90	305	12	251	19	413	90	5		
40	33	32	97	100	39			20	125	B.W.G.No.			
44	50	38	1	計	1,073	鋼板の部		22	20	33	12		
46	16	44	4	等邊大型山形鋼		薄鋼板		25	52	31	3		
50	484	50	159	130mm	4,198	0.5mm	3	28	22	30	1,000		
55	140	計	777	150	194	7	172	30	36	29	310		
60	227	中形平鋼		計	4,392	8	58	31	3	計	3,007		
65	443	60mm	12	等邊山形鋼計		10	350	32	28	其他鋼板			
70	217	65	161	75×65	211	13	1,026	33	8	飛行機用	13		
75	375	70	4	5'×3½"	25	24	116	36	5	鋼客車	5		
80	148	75	484	計	236	28	27	37	5	鋼美裝	242		
90	477	80	1	不等邊中型山形鋼		30	483	38	58	鋼汽罐	1		
95	52	90	51	mm mm		計	2,235	40	6	庖丁材	33		
100	626	100	28	75×65	211	中鋼板		44	5	電氣爐板	5		
計	3,404	125	47	5'×3½"	25	0.75mm	18	45	55	計	299		
大型丸鋼		3"	3	計	236	0.8	15	50	14	鋼板計			
110mm	68	3½	18	溝形鋼		0.87	1	62"	17	軌條及附屬品の部			
115	8	4	8	mm mm		1	14	65	12	輕軌條			
130	81	計	817	75×40	225	1.2	8	69	35	6K	1,384		
計	157	平鋼計	1,594	100×50	205	1.25	2	72	12	8	674		
丸鋼計		スケルブ		200×70	930	1.4	1	78	25	9	789		
小形角鋼		其他棒鋼		200×90	453	1.5	30	80	37	計	2,847		
8mm	4	引拔鋼	3	300×90	2,836	1.6	1,740	綯中鋼板		重軌條			
9	6	149mm	17	380×100	1,405	1.8	15	3mm	20	30K	3,348		
12	151	119	47	6'×2½"	517	1.85	273	3.2	24	37	12,783		
13	2	112	84	6'×3	246	2	30	4.5	247	50	119		
16	110	計	148	計	6,817	2.2	3	5	12	ユニバーサル平鋼			
19	91	工形鋼				2.3	493	綯厚鋼板					
20	5	mm mm		150×75	369	2.4	2	6mm	20				
22	38	180×100	232	200×100	759	2.5	27	8	9				
25	71	230×100	277	230×100	277	2.6	3	8.5	6				
28	38	300×150	1,710	450×175	2,673	2.9	16	10	7				
30	1	450×175	2,673	6'×5"	8	3	312	計					
32	8	20×7½	318	計	6,346	3.2	474	耳付中鋼板					
35	2	計	11,055			3.5	137	3mm	20				
計	527					4	355	3.2	24				
中形角鋼						4.5	729	4.5	247				
38mm	26					5	289	5	12				
44	37					5.5	19	計					
						⅞"	2	計					

昭和7年12月中當所品種寸法別生産高

(其ノ二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
附屬品		線釘材の部		25		電氣爐丸		ボールドナット		戸洞	
10 _r 用	57	線材		3	18	計	3	ナット	23	計	8,140
30	628	5.5mm	7,502	5	5			リベット	55	塊	18,307
40	320	計	7,502	6	2	鍛成品		ナット	1	普通鋼塊	70,336
50	143			7	2	坩堝鋼	1	計	520	塊	124,771
スパイキ	2	製釘材		8	1	電氣爐鋼	100	其他計	761	塊	1,362
トラック		5.5mm	2,742	計		坩堝鋼	137	鋼材計	84,881	塊	19
ボールド	1	計	2,742	線釘計		普通鋼	238	鋼材計	84,881	塊	567
ナット		鋼線		其他の部		計		鋼材計	84,881	塊	126,719
計	1,151	2.3mm	1	特殊鋼條鋼		其他		鉄		塊	75,353
軌附計	20,248			外車輪軸		236		鐵		塊	7,192
						205		本所	43,949	塊	82,545
								計		塊	2,851

昭和7年12月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		1 $\frac{1}{16}$		不等邊山形鋼		鋼板の部		170		角鋼	
丸鋼		1 $\frac{1}{8}$	23	(造船材料)		(鋼板0.7mm超)		mixed	359	鋼板	22
5/16"	1	1 $\frac{3}{8}$	4	mm mm		1/16"	51	oil size	10	其他	38
3/8"	1	1 $\frac{1}{2}$	2	150×90	11	3/16"	20	其他	709	計	10
1/2"	2	2 $\frac{1}{4}$	5	180×90	2	0.8mm	2	計	2,809	鋼材計	6
5/8"	1	2 $\frac{3}{8}$	16	計	13	0.9	1	鋼板計		4,387	
7/8"	1	2 $\frac{1}{2}$	2	溝形鋼		1	21	軌條及附屬品の部		其他鋼材計	
5/8"	3	2 $\frac{3}{8}$	2	寸法不明		1 $\frac{1}{2}$	5	軌條		248	
3/4"	6	2 $\frac{3}{8}$	2	計	5	1 $\frac{1}{4}$	3	Elevator 用	75	鋼材計	
13/16"	1	2 $\frac{3}{8}$	1	造船材料		1 $\frac{1}{2}$	5	其他	1	6,224	
7/8"	1	2 $\frac{3}{8}$	1	mm mm		1 $\frac{1}{2}$	5	フープ		53mm	
1	2	3 $\frac{1}{8}$	2	200×75	3	2	7	57	26	4 $\frac{1}{8}$	15
1 $\frac{1}{16}$	1	3 $\frac{1}{8}$	2	260×70	3	2 $\frac{1}{2}$	2	60	10	4 $\frac{1}{8}$	5
1 $\frac{1}{8}$	2	3 $\frac{1}{8}$	2	280×95	15	2 $\frac{1}{2}$	7	67	40	4 $\frac{1}{8}$	30
1 $\frac{1}{4}$	1	3 $\frac{1}{8}$	2	300×100	1	3	1	72	20	4 $\frac{1}{8}$	5
1 $\frac{1}{2}$	5	3 $\frac{1}{8}$	2	計	22	3 $\frac{1}{2}$	2	77	551	4 $\frac{1}{8}$	5
1 $\frac{3}{8}$	1	3 $\frac{1}{8}$	2	溝形計		3 $\frac{1}{2}$	1	78	10	4 $\frac{1}{8}$	10
1 $\frac{3}{4}$	2	3 $\frac{1}{8}$	1	計	27	4	2	80	5	4 $\frac{1}{8}$	20
2	2	3 $\frac{1}{8}$	1	球山形鋼		4 $\frac{1}{2}$	2	82	15	5 $\frac{1}{2}$	2
2 $\frac{1}{4}$	1	3 $\frac{1}{8}$	1	(造船材料)		5	2	87	21	6	9
2 $\frac{1}{2}$	2	3 $\frac{1}{8}$	1	mm mm		5	1	線材の部		計	
2 $\frac{3}{4}$	1	3 $\frac{1}{8}$	1	130×100	1	5mm	2	線材		3,529	
3	1	3 $\frac{1}{8}$	1	150×75	10	B.W.G.No.		鋼管の部		リボン	
3 $\frac{1}{2}$	1	3 $\frac{1}{8}$	1	180×75	17	11	2	鋼管		鋼片、鋼塊	
4	1	3 $\frac{1}{8}$	1	200×75	36	12	5	1 $\frac{1}{2}$ "	3	フェロクロム其他	
5	1	3 $\frac{1}{8}$	1	200×90	15	13 $\frac{1}{2}$	2	3	3	シート	
25.4mm	8	3 $\frac{1}{8}$	1	230×90	80	14 $\frac{1}{2}$	1	4	13	ビレット	
寸法不明	185	3 $\frac{1}{8}$	1	250×90	73	15	1	5	13	ケツグスチ	
計	236	3 $\frac{1}{8}$	1	280×90	113	15 $\frac{1}{2}$	5	7	7	計	
角鋼		3 $\frac{1}{8}$	1	300×90	15	16 $\frac{1}{2}$	5	鋼管の部		1,905	
1/4"	2	3 $\frac{1}{8}$	1	六角鋼		17	4	鋼管		1,784	
3/8"	2	3 $\frac{1}{8}$	1	計	8	17 $\frac{1}{2}$	2	1 $\frac{1}{2}$ "	3	31	
5/8"	2	3 $\frac{1}{8}$	1	棒鋼計	453	其他	19	3	3		
1	1	3 $\frac{1}{8}$	1	型鋼の部		計	193	4	2		
1 $\frac{1}{2}$	1	3 $\frac{1}{8}$	1	等邊山形鋼		(鋼板7.0mm以下)		5%	50		
1 $\frac{3}{4}$	1	3 $\frac{1}{8}$	1	寸法不明	6	0.6mm	1	250mm	3		
2	1	3 $\frac{1}{8}$	1	計	6	0.7	1	Pipe fitting	7		
2 $\frac{1}{2}$	1	3 $\frac{1}{8}$	1	造船材料		計	2	鋼管計		68	
計	18	3 $\frac{1}{8}$	1	シートのパイピング		電氣鐵板		其他鋼材の部		特殊鋼	
平鋼		3 $\frac{1}{8}$	1	計	283	0.5mm		丸鋼		172	
3/4"	6	3 $\frac{1}{8}$	1	型鋼計		計	40	鋼管計		68	
7/8"	3	3 $\frac{1}{8}$	1	條鋼計		鉄力板	40	其他鋼材の部		特殊鋼	
1	11	3 $\frac{1}{8}$	1	75mm		lbs		2 $\frac{3}{16}$		71	
1 $\frac{1}{4}$	5	3 $\frac{1}{8}$	1	90	1	100	265	2 $\frac{1}{4}$		10	
1 $\frac{1}{2}$	5	3 $\frac{1}{8}$	1	130	8	計		2 $\frac{3}{8}$		5	
		3 $\frac{1}{8}$	1	150	41	計		2 $\frac{1}{2}$		56	
		3 $\frac{1}{8}$	1	計	52	計		2 $\frac{1}{2}$		71	
		3 $\frac{1}{8}$	1	等山計	58	計		2 $\frac{1}{2}$		20	

(單位噸)

線材薄板鋁力板輸入速報

2 月上旬 { 神戸、大阪自1月28日至2月8日
横濱自1月28日至2月7日

神戸	大阪	横浜	合 計
305	—	100	405
—	—	51	51
305	—	151	456
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
112	1,109	481	1,702
—	—	—	—

昭和8年1月中發表各種鋼材先物建値表

種 類	區 分	所 屬 別	外 注 値 段			建 値 月 日	積 月					備 考
			沖 着	爲替	河岸着		2、3 月 積	3 月積	3、4 月 積	4、5 月 積		
丸 鋼	9mm 50mm—100mm	關東鋼材	\$ 15'00	20%	98'11	1' 19	93	—	—	—	10圓上げ	
角 鋼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7 圓上げ	
平 鋼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	前同建値發表せず	
工 溝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	据 置	
形 鋼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
大 山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
中 山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
小 山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
厚 板	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
中 板	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
黑 板	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
鈹 力	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
硅 素	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
美 裝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
綳 スコ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
重 軌	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
輕 軌	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
線 材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
シート	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
パイ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
リン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
グ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

備 考 此他に定期値段及隨時賣値段あり。建値月日の欄にて () の附してあるものは當月の建値に非ざるもの。

昭和7年11月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

丸 鋼										角 鋼									
區 分 寸 法	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				合計	區 分 寸 法	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				合計
	阪神 揚	京濱 揚	其 他	計	阪神 揚	京濱 揚	其 他	計			阪神 揚	京濱 揚	其 他	計	阪神 揚	京濱 揚	其 他	計	
5.5mm	2	—	—	2	—	—	—	—	2	9mm	20	15	60	95	—	—	—	—	95
6	—	—	19	19	—	—	—	—	19	12	120	228	108	456	—	—	—	—	456
6.5	1	—	—	1	—	—	—	—	1	16	181	106	58	345	—	—	—	—	345
7	4	—	—	4	—	—	—	—	4	19	35	57	20	112	—	—	—	—	112
8	—	—	1	1	—	—	—	—	1	20	—	2	—	2	—	—	—	—	2
9	2,884	3,917	1,008	7,809	—	—	—	—	7,809	22	40	23	9	72	—	—	—	—	72
12	—	—	897	897	—	—	—	—	897	25	76	75	67	218	—	—	—	—	218
13	—	—	5	5	—	—	—	—	5	28	25	5	—	30	—	—	—	—	30
15	—	—	3	3	—	—	13	13	16	30	—	2	—	2	—	—	—	—	2
16	—	—	6	6	—	—	—	—	6	32	170	51	42	263	—	—	—	—	263
18	—	—	7	7	—	—	21	21	28	36	—	45	—	45	—	—	—	—	45
19	—	—	101	101	—	—	—	—	101	38	64	1	3	68	—	—	—	—	68
20	—	—	1	1	—	—	—	—	1	40	—	3	—	3	—	—	—	—	3
21	—	—	5	5	—	—	—	—	5	44	140	66	12	218	—	—	—	—	218
22	—	—	—	—	—	—	14	14	14	45	—	2	—	2	—	—	—	—	2
24	—	—	1	1	—	—	—	—	1	50	103	23	10	136	—	—	—	—	136
25	20	20	8	48	—	—	—	—	48	55	4	—	—	4	2	—	—	2	6
26	—	—	11	11	—	—	—	—	11	60	2	2	2	6	—	—	—	7	13
28	—	—	10	10	—	—	1	1	11	65	81	37	—	118	—	—	—	—	118
30	—	—	9	9	—	—	—	—	9	70	3	—	—	3	—	—	—	—	3
32	—	—	25	25	—	—	—	—	25	75	97	50	19	166	5	—	1	6	172
34	—	—	1	1	—	—	—	—	1	80	—	1	—	1	—	—	—	—	1
36	—	—	7	7	—	—	—	—	7	90	60	20	—	80	—	—	—	—	80
38	—	50	141	191	—	—	—	—	191	100	96	7	—	103	—	—	7	7	110
40	—	1	18	19	—	—	—	—	19	110	2	—	—	2	—	—	—	—	2
42	—	—	1	1	—	—	—	—	1	120	3	—	—	3	—	—	—	—	3
44	20	85	27	132	—	—	—	—	132	130	8	—	—	8	—	—	—	—	8
45	—	—	1	1	—	—	—	—	1	150	13	—	—	13	—	—	—	—	13
46	—	—	1	1	—	—	—	—	1	250	—	—	30	30	—	—	—	—	30
48	—	—	5	5	—	—	—	—	5	計	1,343	821	440	2,604	14	—	8	22	2,626
50	85	109	21	215	—	—	—	—	215	平 鋼									
55	124	117	33	274	—	—	—	—	274	12mm	—	—	3	3	—	—	—	—	3
60	51	47	—	98	—	—	—	—	98	15	—	5	—	5	—	—	—	—	5
65	151	64	—	215	—	5	—	5	220	16	—	—	20	20	—	—	—	—	20
70	140	40	—	180	—	6	—	6	186	19	107	282	4	393	—	—	—	—	393
75	124	122	5	251	—	—	—	—	251	22	172	184	14	370	—	—	—	—	370
80	44	45	2	91	—	2	—	2	93	25	93	239	67	399	—	—	—	—	399
85	25	22	—	47	—	—	—	—	47	32	269	376	94	739	—	—	—	—	739
90	55	99	16	170	—	2	1	3	173	38	240	9	4	253	—	—	—	—	253
95	26	186	—	212	—	—	—	—	212	44	120	4	—	124	—	—	—	—	124
100	142	167	9	318	—	—	10	10	328	50	26	5	—	31	—	—	—	—	31
105	—	1	—	1	—	—	—	—	1	55	12	4	—	16	—	—	—	—	16
110	5	74	—	99	—	—	—	—	99	60	3	—	—	3	—	—	—	—	3
115	6	25	—	31	—	4	—	4	35	65	13	5	—	18	—	—	—	—	18
120	7	6	—	13	—	—	—	—	13	70	2	—	—	2	—	—	—	—	2
125	—	16	—	16	—	—	—	—	16	75	223	231	60	514	—	—	10	10	524
130	38	40	—	78	—	—	3	3	81	80	1	5	—	6	—	—	—	—	6
135	—	4	2	6	—	—	—	—	6	90	377	91	8	476	—	—	—	—	476
140	43	59	—	102	—	—	—	—	102	100	226	121	34	381	—	—	—	—	381
145	—	6	—	6	—	—	—	—	6	計	1,884	1,561	308	3,753	—	—	10	10	3,763
150	91	61	29	181	—	—	3	3	184	12mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—
160	14	33	—	47	—	—	—	—	47	15	—	5	—	5	—	—	—	—	5
170	22	19	—	41	—	—	—	—	41	16	—	—	20	20	—	—	—	—	20
180	24	18	13	55	—	—	—	—	55	19	107	282	4	393	—	—	—	—	393
190	25	13	—	38	—	—	—	—	38	22	172	184	14	370	—	—	—	—	370
200	1	30	101	132	—	—	—	—	132	25	93	239	67	399	—	—	—	—	399
250	—	11	—	11	—	—	—	—	11	32	269	376	94	739	—	—	—	—	739
計	4,194	5,507	2,550	12,251	—	19	66	85	12,336	38	240	9	4	253	—	—	—	—	253
總 計	7,421	7,889	3,298	18,608	14	19	84	117	18,725	44	120	4	—	124	—	—	—	—	124

昭和7年11月中民間棒鋼生産高表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸鋼	36	431	90	31	角鋼	85	130	平鋼	25mm	4	4	棒鋼	31,844
6mm	210	38	477	95	22	9mm	9	120	518	32	4	合計	
9	15	40	16	100	28	11	4	135	314	38	509		
10	1	42	68	138	63	13	17			44	1		
11	7	44	112	150	84	14	2			50	966		
12	6,614	48	38	3 1/4"	989	16	1,218			65	478		
13	96	50	59	3 1/2"	112	19	25			75	8		
14	5	55	70	3 3/4"	144	22	6			100	10		
16	4,722	60	27	4 1/4"	20	25	48			1 1/4"	71		
19	3,373	65	200	4 1/2"	366	32	27			2	24		
22	3,274	67	1	5	84	38	21			2 1/2"	53		
25	2,752	75	46	5 1/2"	218	44	12			三級品	12		
28	595	79	15	二級品	163	50	34			計	2,140		
32	1,030	80	53	三級品	243	55	6						
34	38	83	12	計	26,924	75	389			計	2,780		

昭和8年1月中三港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品	區分	神戶	大阪	横濱	1月計	前月計	本年累計	前年同期累計
丸角平等不溝工鋼	鋼	115	5	152	272	241	272	1,077
鐵軌線シ鋼其	鋼	126	51	44	221	21	221	110
	鋼	77	169	37	283	107	283	657
	鋼	—	—	—	—	51	—	11
	鋼	—	—	—	—	13	—	—
	鋼	37	118	49	204	28	204	19
	鋼	19	19	—	19	—	19	428
	鋼	357	2,905	474	3,736	193	3,736	853
	鋼	—	—	11	11	2	11	2,237
	鋼	1,381	1,297	2,300	4,978	4,155	4,978	3,350
	鋼	47	—	5	52	76	52	219
	鋼	259	194	758	1,211	251	1,211	2,106
	鋼	—	—	—	—	283	—	250
	鋼	19	32	242	293	70	293	508
	鋼	229	126	112	467	744	467	774
	計	2,647	4,916	4,184	11,747	6,235	11,747	12,599
硫石ナク	炭	87	—	4,064	4,151	136	4,151	23,551
	炭	—	—	10	10	—	10	10
	炭	452	—	45	497	143	497	173
	炭	26	10	20	56	80	56	21